

# ユーザーズガイド for Android



# 改版履歴

| 版  | ページNo.        | 改版内容                         | 改版日        |
|----|---------------|------------------------------|------------|
| 1  |               | 制定                           | 2014/ 7 /9 |
| 2  | 全般            | 機能改良に伴う画像の変更                 | 2014/10/29 |
| 2  | 全般            | 機能改良に伴う語句変更                  | 2014/10/29 |
| 3  | 全般            | 機能改良に伴う画像の変更                 | 2015/3/26  |
| 3  | 8,35,36       | アラート設定項目追加                   | 2015/3/26  |
| 3  | 27            | 端末変更・使用者変更時の情報更新手順追加         | 2015/3/26  |
| 3  | 31            | ログ取得設定項目追加                   | 2015/3/26  |
| 3  | 50            | 警告設定一覧を追加                    | 2015/3/26  |
| 4  | 8,36          | Android 5.0以上のアラート項目追加       | 2015/4/30  |
| 4  | 全般            | 機能改良に伴う画像の変更                 | 2015/4/30  |
| 4  | 59            | よくあるご質問（FAQ）リンク追記            | 2015/4/30  |
| 5  | 全般            | 機能改良に伴う画像と語句の変更              | 2015/9/30  |
| 6  | 8,10-13,32,33 | 項目名変更に伴う修正                   | 2015/12/7  |
| 7  | 全般            | 機能改良に伴う機能改良に伴う画像の修正          | 2016/3/24  |
| 7  | 9             | 表示項目の設定手順を追加                 | 2016/3/24  |
| 7  | 35,38,39,40   | Webサイト閲覧ログの対応OSを追記           | 2016/3/24  |
| 7  | 53            | 2016/3/23以前からご利用のお客様へのご案内を追記 | 2016/3/24  |
| 7  | 55-56         | 警告レポートメール設定手順の変更             | 2016/3/24  |
| 8  | 全般            | アップデート対応に伴う画像や文言の変更          | 2016/9/27  |
| 8  | 45            | 不許可アプリ設定の仕様を追記               | 2016/9/27  |
| 9  | 10,15,34-36   | マルチユーザー制御機能追加に伴う画像の変更・手順の追加  | 2016/12/21 |
| 9  | 7             | 機能改良に伴う画像の変更                 | 2016/12/21 |
| 9  | 全般            | 語句の修正                        | 2016/12/21 |
| 10 | 36            | 文言変更に伴う画像の変更                 | 2016/12/27 |
| 11 | 全般            | Android 7.0対応に伴う画像や文言の変更     | 2017/4/27  |
| 12 | 20            | ボタン名などの誤表記を修正                | 2018/3/19  |
| 13 | 62            | アンインストール防止機能の終了に伴う変更         | 2018/5/25  |



## announce

### 1. 管理コンソールの表示と基本操作 (p.5)

- 1-1 管理・運用に役立つ各種設定 (p.6)
- 1-2 管理コンソールの表示内容 (p.7)
- 1-3 Androidで設定可能な項目一覧 (p.10)
- 1-4 各設定の適用範囲について (p.12)

## guide

### 1. 各部門、各部署の責任者が使えるように設定する (p.16)

- 1-1 アカウントを1つずつ設定する (p.17)
- 1-2 アカウントを一括設定する (p.20)
- 1-3 アカウント設定を変更する (p.21)

### 2. 会社の組織情報を設定する (p.23)

- 2-1 部署を新規に作成・設定する (p.24)
- 2-2 部署を削除する (p.25)
- 2-3 部署名を変更する (p.26)
- 2-4 部署を一括編集する (p.27)
- 2-5 端末変更/削除、使用者変更の際に情報を更新する (p.29)

### 3. 業務時間を設定する (p.31)

### 4. 取得するログの内容を設定する (p.33)

### 5. アラート内容を設定する (p.37)

- 5-1 資産のアラート内容を設定する (p.38)
- 5-2 操作のアラート内容を設定する (p.39)
- 5-3 Webサイト閲覧アラートのキーワードを設定する (p.40)
- 5-4 Webサイト閲覧アラートのキーワードをインポートする (p.41)

### 6. 会社として許可/不許可のアプリを設定する (p.43)

- 6-1 新たにインストール情報が取得されたアプリの分類設定をする (p.44)
- 6-2 インストールされたアプリの許可レベルを設定する (p.45)
- 6-3 インストールされたアプリの許可設定を一括編集する (p.47)

### 7. 端末のパスワードポリシーを設定する (p.49)

### 8. 端末のセキュリティ基準を設定する (p.52)

### 9. 警告レポートメールの配信設定をする (p.55)

### 10. ログの一括出力設定をする (p.58)

- 10-1 ログ出力条件を設定する (p.59)
- 10-2 ログを出力してダウンロードする (p.60)

### 11. 意図しないアンインストールが発生しないように設定する (p.61)

### お問い合わせ先 (p.63)

# 管理コンソールの表示と基本操作

---

管理コンソールの基本操作や表示項目のカスタマイズ、適用範囲の設定や項目一覧などを説明します。

- 1-1 管理・運用に役立つ各種設定
- 1-2 管理コンソールの表示内容
- 1-3 Androidで設定可能な項目一覧
- 1-4 各設定の適用範囲について

announce

1

# 管理・運用に役立つ各種設定

## 1-1

LanScope Anに関する様々な設定は、「管理設定」から可能です。



### 管理設定

#### A:管理者設定

##### ①:アカウント設定

管理コンソールにログインできるアカウントの追加/変更/削除/インポートおよび権限設定

##### ②:端末登録設定 ※詳細はスタートアップガイドをご覧ください。

管理する端末情報を登録

##### ③:アンインストール防止設定 ※Android/Windows端末のみが対象の機能です。

管理者の意図に反して、アンインストールできないようにパスワードを設定

##### ④:パスワードポリシー設定 ※Android/iOS端末のみが対象の機能です。

端末に設定するパスワードのルールを設定

#### B:DEP設定

※iOS端末のみが対象の機能です。

##### ①:DEPサーバー設定

DEPサーバーの登録・同期

※詳細はDevice Enrollment Program(DEP)機能ガイドを参照してください。

##### ②:DEP端末設定

DEPプロファイルの登録・割当て

#### C:運用設定

##### ①:組織情報変更

スマートデバイスの管理組織の作成

##### ②:ログ取得設定

端末から取得する資産・操作情報の設定

##### ③:アラート設定

②で取得設定した情報の中で管理したい情報の設定

##### ④:不許可アプリ設定

アプリ管理ルールの設定

##### ⑤:業務時間設定

プライベートな時間は情報を取得しないように業務時間や業務曜日を設定

##### ⑥:警告設定

セキュリティリスクの警告基準を、自社の運用にあわせて設定

#### D:プロファイル管理

##### ①:プロファイル登録

作成したプロファイルの登録

##### ②:プロファイル配信

登録したプロファイルを端末に配信

#### E:個人運用設定確認

##### ①:ログ一括出力設定確認

アカウントごとに設定されたログ一括出力設定の内容を確認

##### ②:メール配信設定確認

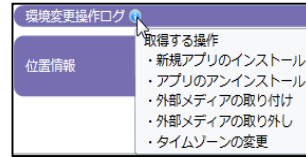
警告設定に抵触する状態や操作のあった端末のレポートメールの配信設定を確認

# 管理コンソールの表示内容

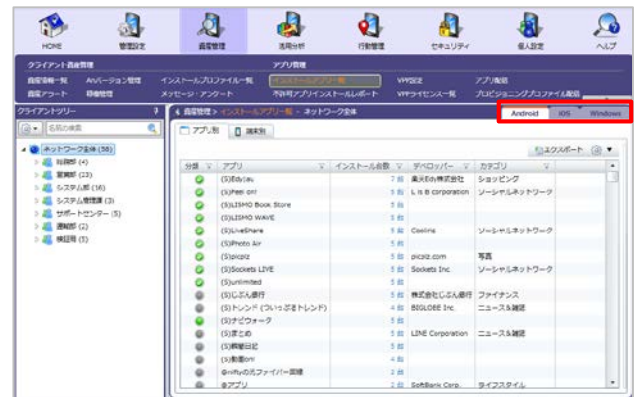
## 1-2

管理コンソール全体に関する操作方法を確認します。

- 画面に表示されているアイコンにマウスカーソルをあわせると、詳細情報を確認できます。



- 画面に表示されているタブで、OSの確認と切り替えができます。

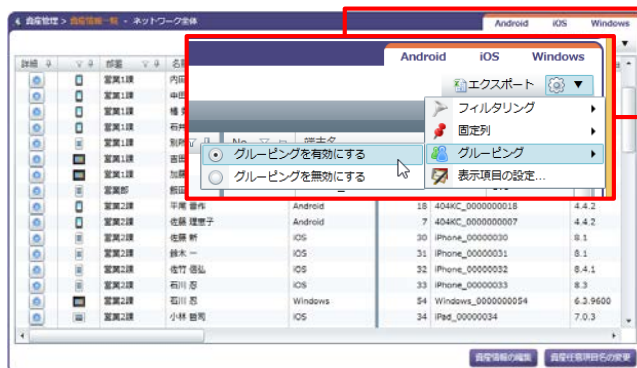


| タブ | 説明   |
|----|--|
|    | Android/iOS/Windows を切り替えます<br>(該当画面：端末登録設定／インストールアプリ一覧など) |
|    | OSが混在しています<br>(該当画面：資産情報一覧／最新位置情報など)                       |
| ①  | 特定のOSのみ切り替えできます<br>(該当画面：①アンインストール防止設定／②パスワードポリシー設定など)     |
| ②  |  |
| ③  | 特定のOSのみ表示できます<br>(該当画面：③プロファイル登録／④端末別活用レポートなど)             |
| ④  |  |

- 資産情報一覧などの画面は、項目ごとにグルーピング（グループ分け）できます。  
条件に合致する端末を見つけたい時に便利です。

（例）営業2課に割り当てられている各OSの台数を調べる場合

1. 「資産管理」から「資産情報一覧」を開きます。
2. 表右上の歯車アイコンから「グルーピング」  
「グルーピングを有効にする」を選択します。



3. 上部に「列ごとにグループ分けするときは、ここに列ヘッダーをドラッグします。」という領域が表示されるので、ここにグループ分けをしたい列ヘッダー（項目名）をドラッグします。

ここでは「部署」をドラッグして領域上で離します。



4. 「部署」ごとにグループ分けが行われました。  
さらに「営業部2課」を▶で展開し、「OSタイプ」をドラッグして領域上で離します。



5. 「部署」と「OSタイプ」でグループ分けができました。

営業2課にはAndroidが2台、iOSが6台、  
Windowsが6台あることを確認できました。

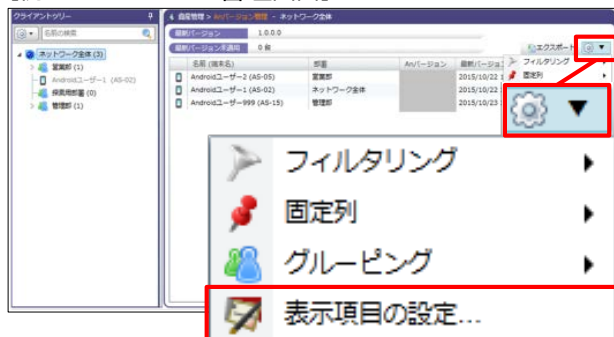




- 次の手順で、画面上の列（項目）を並べ替えたり、表示／非表示を切り替えられます。

1. 表右上の歯車アイコンから「表示項目の設定」を選択します。

【例：Anバージョン管理画面】



2. 「列の選択」画面で、次の設定が可能です。

- ①のアイコンをドラッグして、画面上の列（項目）の表示順番を並べ替えられます。
- ②のチェックボックスをクリックして、画面上の列（項目）の表示／非表示を切り替えられます。



# Androidで設定可能な項目一覧

## 1-3

ログの取得に関する設定は、予め以下のとおりに設定されています。  
取得の可否や取得するタイミングなどは以下をご確認の上、自由に変更してください。

### ■ログ取得設定

| チェック項目        | デフォルト設定                      |
|---------------|------------------------------|
| 端末使用者への設定情報開示 | 開示しない                        |
| マルチユーザー機能     | 制御しない★1                      |
| 資産情報          | 取得する                         |
| インストールアプリ情報   | 取得する                         |
| アプリ利用ログ       | 取得する（業務時間のみ取得する）             |
| 電話利用ログ        | 取得する（業務時間のみ取得する）             |
| Webサイト閲覧ログ    | 取得する（業務時間のみ取得する）★2           |
| 環境変更操作ログ      | 取得する                         |
| 位置情報          | 取得する（業務時間のみ取得する）（30分間隔で取得する） |

★1 Android 5.0以上の端末で利用できます。

★2 Android 6.0未満の端末で利用できます。

### ■アラート設定

|        | チェック項目       | デフォルト設定               |
|--------|--------------|-----------------------|
| 資産アラート | 端末未稼働        | 設定する（未稼働期間30日以上でアラート） |
|        | 空き容量         | 設定する（空き容量25%以下でアラート）  |
|        | リース有効期限      | 設定する（リース切れ0日前でアラート）   |
|        | 位置情報サービス無効   | 設定する                  |
|        | パスワードポリシー非準拠 | 設定する                  |
|        | Root化        | 設定する                  |
|        | SIMカード挿入状態変化 | 設定する                  |
|        | OSバージョン指定範囲外 | 設定しない                 |
|        | 不許可アプリインストール | 設定する（不許可アプリ設定数0個）     |
|        | 必須アプリ未稼働     | 設定する（必須アプリ設定数0個）★1    |
| 操作アラート | 不許可アプリ起動     | 設定する（不許可アプリ設定数0個）     |
|        | 不正Webサイト閲覧   | 設定する★2                |
|        | 新規アプリインストール  | 設定する                  |
|        | タイムゾーン設定変更   | 設定する                  |
|        | SDカード抜き差し    | 設定する                  |

★1 Android 7.0未満の端末で利用できます。

★2 Android 6.0未満の端末で利用できます。

※操作アラート「デバイス管理者設定」「使用履歴へのアクセス設定（Android 5.0以上）」「Anインストール」に関しては、強制的にアラートとして表示されるため設定の必要はありません。

■ 業務時間設定

| チェック項目 | デフォルト設定        |
|--------|----------------|
| 業務時間   | 9 : 00～18 : 00 |
| 業務曜日   | 月/火/水/木/金      |
| 休日設定   | 設定しない          |
| 業務日設定  | 設定しない          |

# 各設定の適用範囲について

## 1-4

各設定内容は、組織全体や部署単位で適用することができます。

ここでは、その適用範囲の設定方法について紹介します。

※組織構成を編集する場合は guide2 (p.23～) を参照してください。

■ 設定内容を適用する範囲を決めることができる項目

**管理設定 …… ログ取得設定／アラート設定／不許可アプリ設定／業務時間設定**

### A. 設定を組織（ネットワーク）全体に適用する

1. 管理設定にある各設定画面の部署ツリーから「ネットワーク全体」を選択します。

【部署ツリー】



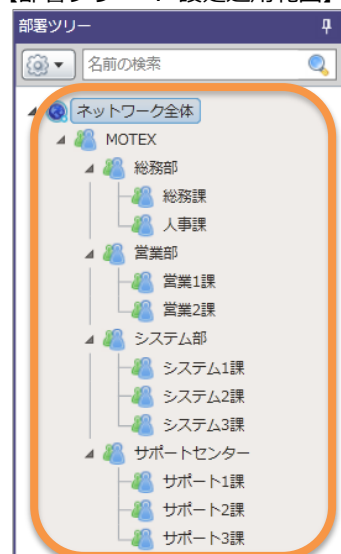
2. 右画面の「変更」をクリックして各設定内容を決定し、「OK」をクリックします。  
※各設定内容の詳細は、この後の各章を確認してください。

【右画面（サンプル：ログ取得設定画面）】



3. ネットワーク全体配下のすべての部署に設定内容が適用されます。

【部署ツリー：設定適用範囲】



## B. 設定を部署単位で適用する

1. 管理設定にある各設定画面の部署ツリーから設定したい部署を選択します。

【部署ツリー】



2. 右画面の「新規」（もしくは「変更」）をクリックして各設定内容を決定し、「OK」をクリックします。  
※各設定内容の詳細は、この後の各章を確認してください。

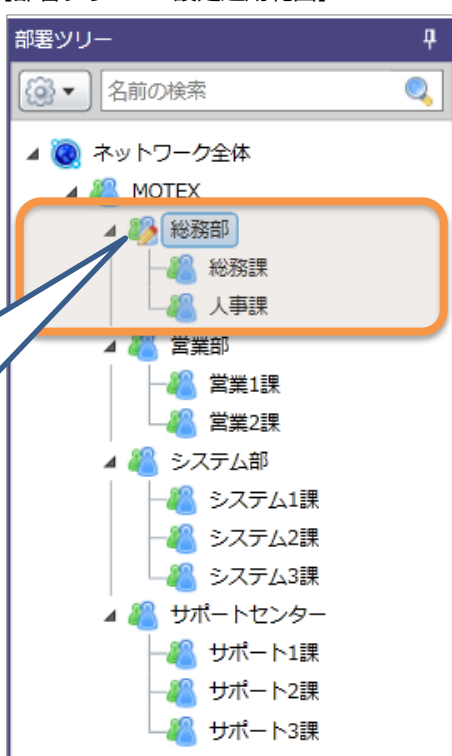
【右画面（サンプル：ログ取得設定画面）】



3. （新規作成した場合は）選択した部署のアイコンが「部署別設定適用済み」アイコンに変化し、1.で選択した部署とその配下のすべての部署に設定内容が適用されます。

右の例の場合、総務部直下、総務課、人事課に所属している端末に2.の設定が適用され、それ以外の部署にはネットワーク全体の設定が適用されます。

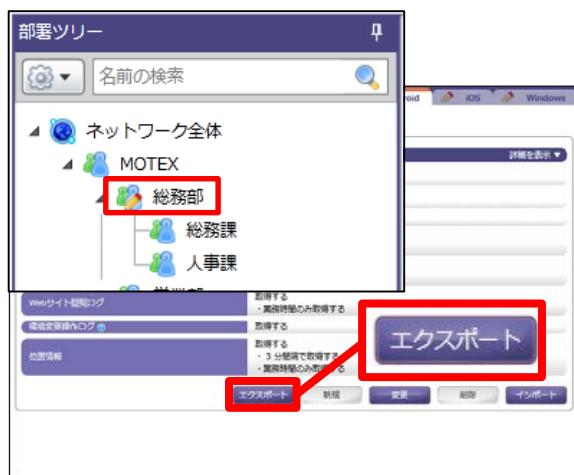
【部署ツリー：設定適用範囲】



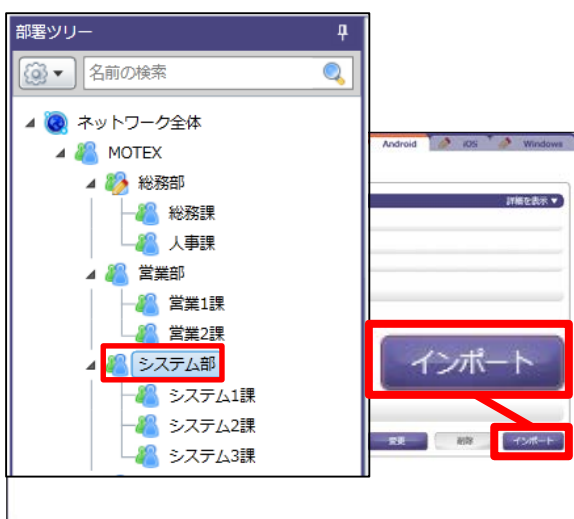
## C. 他の部署の設定をインポートする

1. 管理設定にある各設定画面の部署ツリーから、反映させたい設定内容が適用されている部署を選択します。
2. 右画面の「エクスポート」をクリックして設定内容を任意の場所に保存します。必要があればエクスポートしたファイルで設定内容を編集することもできます。

【部署ツリー・右画面  
(サンプル：ログ取得設定画面)】



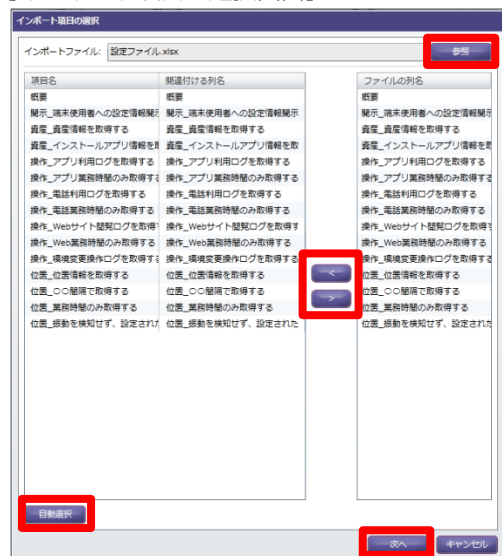
3. 部署ツリーから設定内容をインポートしたい部署を選択します。
4. 右画面の「インポート」をクリックします。



5. 「参照」をクリックして2.でエクスポートしたファイルを選択し、インポートしたい項目名とファイルの列名を「<」「>」で紐付けて「次へ」をクリックします。

※「自動選択」をクリックすると、同じ列名のを自動的に紐付けます。

【インポート項目の選択画面】

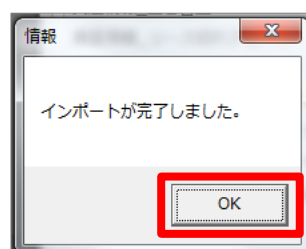


6. インポート確認画面が表示されます。インポート内容に問題がなければ「インポート」をクリックします。

#### 【インポートデータの確認画面】



7. ダイアログが表示されます。「OK」をクリックして閉じます。



## ●ポイント

- ネットワーク全体など、上位部署に設定が適用されている場合でも、部署別の設定が優先されます。
- 部署別の設定を解除したい場合は、部署ツリーで部署を選択し、右画面の「削除」をクリックします。現在の設定内容が削除され、上位部署（もしくはネットワーク全体）の設定内容が自動的に引き継がれます。
- 部署にどの設定が適用されているかを確認したい場合は、部署ツリーで部署を選択し、右画面上部を確認します。

- ①ネットワーク全体の設定を使用しています。
- ②部署別設定が設定されています。部署別設定を設定した管理者の名前と、最後にログインした日時が表示されます。
- ③上位部署である運輸部の設定を使用しています。



[アカウント設定]

# 各部門、各部署の責任者が使えるように設定する

---

管理コンソールにログインできるアカウントの追加／変更／削除／インポートおよび権限設定を行います。

- 1-1 アカウントを1つずつ設定する
- 1-2 アカウントを一括設定する
- 1-3 アカウント設定を変更する

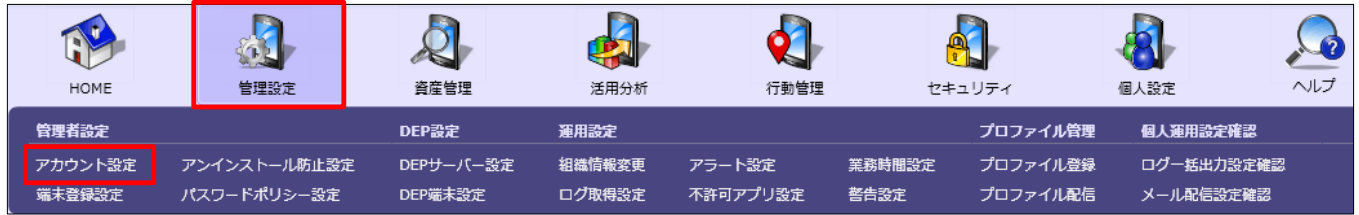
guide

1



# アカウントを1つずつ設定する

## 1-1

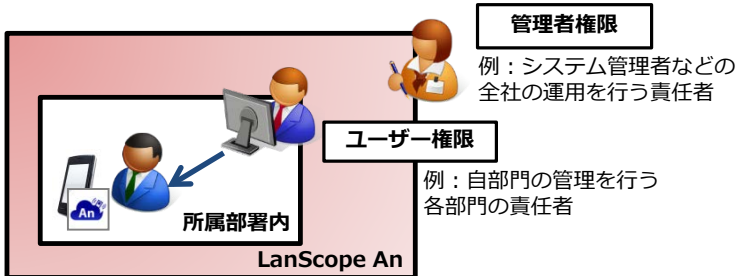


1. 「管理設定」メニューを選択し、「アカウント設定」をクリックします。
2. 画面下部にある「追加」をクリックすると、「アカウントの追加」が開きます。
3. 追加したい「アカウント（メールアドレス）」「表示名」「パスワード」「パスワードの確認入力」を入力してください。

※パスワードは利用者本人のログイン後に変更することが可能です。パスワードは、「自動生成」をクリックすることでランダムに作成することができます。

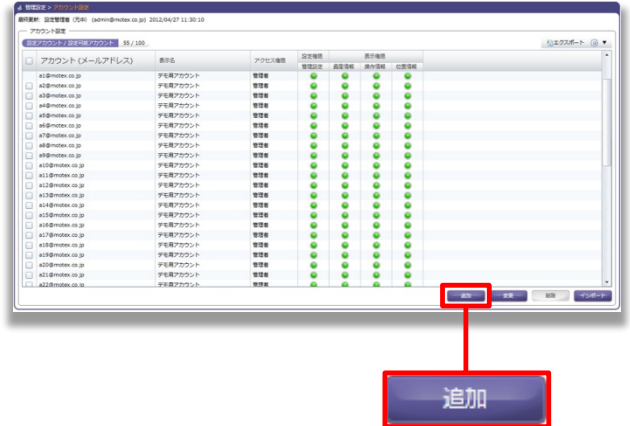
4. 管理者権限とユーザー権限の2種類があります。アクセス権限を選択してください。

### 【LanScope Anのアクセス権限】



※管理者権限とユーザー権限では、右図①の「設定権限」や「表示権限」の設定可能な範囲に違いはありません。ただし管理者権限のみ【アカウント設定／端末登録設定／アンインストール防止設定 (Android・Windowsのみ) / パスワードポリシー設定 (iOS・Androidのみ) / DEPサーバー設定 (iOSのみ) / DEP端末設定 (iOSのみ) / ログ一括出力設定確認 / メール配信設定確認】の閲覧・設定が可能です。

### 【アカウント設定】



### 【アカウントの追加】

The screenshot shows the 'Add Account' form. It includes fields for 'Account (Email Address)', 'Display Name', 'Password', and 'Password Confirmation'. The 'Access Permission' dropdown is set to 'User Permission'. A red box highlights the 'Add' button. Below the form, a list of permissions is shown, with a red circle ① highlighting the 'Settings' (設定) and 'Display' (表示) permissions.

5. アカウント作成に必要な情報入力が完了したら「設定権限」「表示権限」を設定します。  
各設定項目については「■設定権限」「■表示権限」の一覧（p.19）を参照してください。

6. 「設定権限」「表示権限」の設定が終了したら「次へ」をクリックします。

#### 【アカウントの追加】

アカウント (メールアドレス): kanri@motex.co.jp  
表示名: 管理用アカウント  
パスワード: .....  
パスワードの再入力: .....  
パスワードを表示する ☐ 自動生成 ☒  
アクセス権限: ユーザー権限  
設定権限 表示権限  
すべてデフォルト すべてはずす  
☒ ログ取得設定を変更する権限を付与する  
☒ アラート設定を変更する権限を付与する  
☒ 異動時間設定を変更する権限を付与する  
☒ 不許可アプリ設定を変更する権限を付与する  
☒ 指紋情報を変更する権限を付与する  
☒ 資産情報を変更する権限を付与する  
☒ 警告設定を変更する権限を付与する  
☒ リモートロック・リモートワイプ・紛失モードの実行権限を付与する  
☒ プロファイルを登録・配備する権限を付与する  
☒ 警告レポートメールの配信設定で他のアカウントを優先に指定する権限を付与する  
☒ iOSアプリを登録・配備する権限を付与する  
☒ メッセージ・アンケートを追加・送信する権限を付与する  
次へ キャンセル

7. 「通知内容の設定」が開きます。必要に応じて「追加するアカウント宛にメールを送信する」にチェックを入れて「件名」と「本文」を編集し、「次へ」をクリックします。

※メールを送信しない場合はチェックを入れずに「OK」をクリックして完了です。

#### 【通知内容の設定】

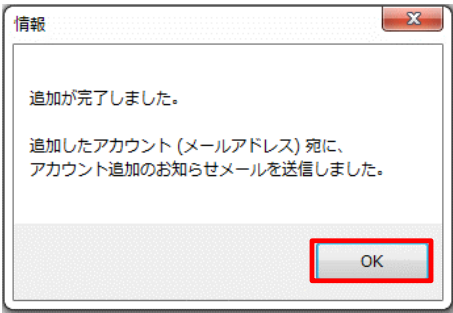
通知内容の設定  
☒ 追加するアカウント宛にメールを送信する  
件名: [LanScope An] アカウント登録設定が完了しました  
現在、社内で利用しているスマートフォン、タブレットPCをLanScope Anで管理することになりました。  
本日からLanScope Anの管理画面をご利用頂くことが可能です。  
説明: メールの文頭に宛先を記載します。  
メールの文末にコンソールURLとアカウント（メールアドレス）、パスワードを記載します。  
戻る 次へ キャンセル

8. 「通知内容のプレビュー」が表示されるので、間違いがなければ「OK」をクリックします。

#### 【通知内容のプレビュー】

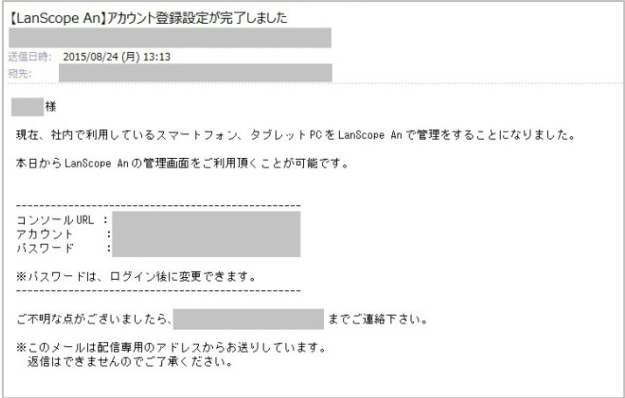
通知内容のプレビュー  
件名: [LanScope An] アカウント登録設定が完了しました  
管理者 様  
現在、社内で利用しているスマートフォン、タブレットPCをLanScope Anで管理することになりました。  
本日からLanScope Anの管理画面をご利用頂くことが可能です。  
コンソールURL: .....  
アカウント: .....  
パスワード: .....  
※パスワードは、ログイン後に変更できます。  
ご不明な点がございましたら、MO太郎 (taro@test.co.jp) までご連絡下さい。  
※このメールは配信専用のアドレスからお送りしています。  
返信はできませんのでご了承ください。  
戻る OK キャンセル

9. アカウントの追加完了後「追加が完了しました」という情報画面が表示されるので、「OK」をクリックします。



10. 追加されたアカウントのメールアドレス宛てに、アカウント追加のお知らせメールが送信されます。

【お知らせメール例】



■ 設定権限

| 権限のカテゴリ                               | 権限を付与した場合の状態   |
|---------------------------------------|--|
| ログ取得設定を変更する権限を付与する                    | 【ログ取得設定】画面の表示が可能です   |
| アラート設定を変更する権限を付与する                    | 【アラート設定】画面の表示が可能です   |
| 業務時間設定を変更する権限を付与する                    | 【業務時間設定】画面の表示が可能です   |
| 不許可アプリ設定を変更する権限を付与する                  | 【不許可アプリ設定】画面の表示が可能です   |
| 組織情報を変更する権限を付与する                      | 【組織情報変更】画面の表示が可能です<br>部署に関するアンケートの追加・変更・送信・回答反映が可能です               |
| 資産情報を変更する権限を付与する                      | 【資産情報一覧】画面で資産情報と資産任意項目の変更が可能です<br>資産情報に関するアンケートの追加・変更・送信・回答反映が可能です |
| 警告設定を変更する権限を付与する                      | 【警告設定】画面の表示が可能です   |
| リモートロック・リモートワイプ・紛失モードの実行権限を付与する       | リモートロック・リモートワイプ・紛失モードの実行が可能です<br>※紛失モードはiOSのみの機能です                 |
| プロフィールを登録・配信する権限を付与する                 | 【プロフィール登録】画面・【プロフィール配信】画面の表示が可能です<br>※iOSのみの機能です                   |
| 警告レポートメールの配信設定で他のアカウントを宛先に指定する権限を付与する | 【メール配信設定】画面で、警告レポートメールの宛先としてすべてのアカウントの指定が可能です                      |
| iOSアプリを登録・配信する権限を付与する                 | 【アプリ配信】【VPP設定】【VPPライセンス一覧】画面の表示が可能です<br>※iOSのみの機能です                |
| メッセージ・アンケートを追加・送信する権限を付与する            | 【メッセージ・アンケート】画面の表示が可能です  |

■ 表示権限

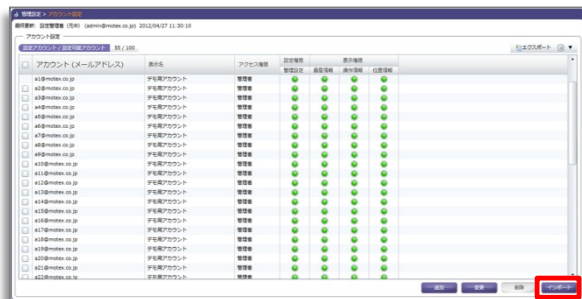
どの部署の、どの端末の、どの情報（資産、操作、位置）を閲覧するのか責任者の閲覧範囲を設定することができます。

# アカウントを一括設定する

## 1-2

1. 「管理設定」メニューを選択し「アカウント設定」をクリックします。
2. 画面下部にある「インポート」をクリックすると、「インポート項目の選択」が開きます。

【アカウント設定】



インポート

【インポート項目の選択】

3. 「参照」をクリックし、インポートしたいExcelファイルを選択すると、インポートするファイル名が①に表示されます。読み込んだファイルの1列目の列項目が②の「ファイルの列名」に表示されます。
4. ③の関連付ける列名を選択した状態で②の列名をダブルクリックもしくは「<」をクリックすると、③の選択箇所に②で選択した列名が表示されます。

①



③

②

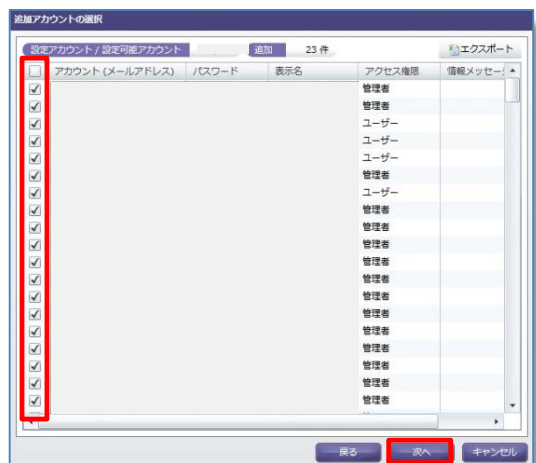
「自動選択」を選択した場合、自動で③の項目名と同じ名前の列名が②から選ばれ③の「関連付ける列名」に追加されます。

5. ②と③の関連付けが完了したら、「次へ」をクリックします。「追加アカウントの選択」が開きます。
6. インポートするアカウントのチェックボックス(④)にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

【追加アカウントの選択】

7. 「通知内容の設定」が開くので必要に応じて「追加するアカウント宛にメールを送信する」にチェックを入れて「件名」と「本文」を編集し、「次へ」をクリックします。  
※メールを送信しない場合はチェックを入れずに「インポート」をクリックしてください。
8. 「通知内容のプレビュー」を確認し、問題がなければ「インポート」をクリックします。追加したアカウントのメールアドレス宛てに、アカウント追加のお知らせメールが送信されます。

④

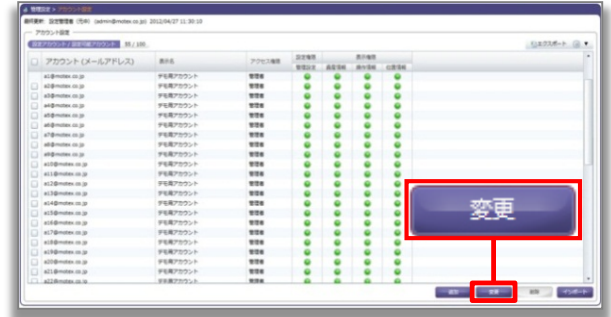


# アカウント設定を変更する

## 1-3

1. 「管理設定」メニューを選択し「アカウント設定」をクリックします。
2. 変更したいアカウントを選択します。
3. 画面下部にある「変更」をクリックすると、「アカウント設定の変更」が開きます。

【アカウント設定】



4. 「表示名」「パスワード」「パスワードの確認入力」「設定権限」「表示権限」の各項目から変更内容を入力してください。

※「アカウント（メールアドレス）」は変更できません。

5. 「表示名」「設定権限」「表示権限」のみ変更の場合は、「OK」をクリックします。

※パスワードを変更する場合は、変更内容を入力すると、「OK」が「次へ」に変更になるのでクリックします。

【アカウント設定の変更】

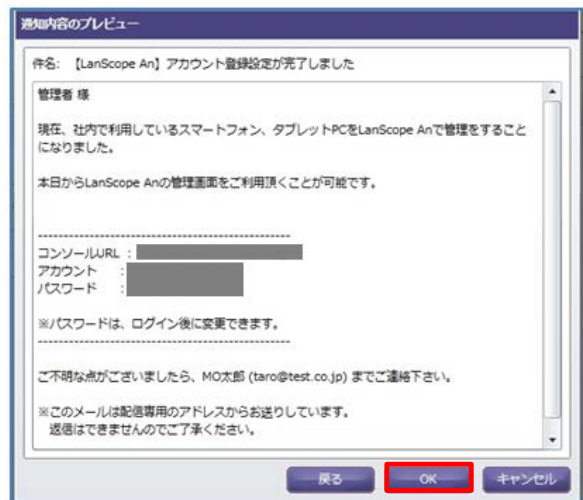
6. 「通知内容の設定」が開きます。必要に応じて「変更後のパスワードをメールで通知する」にチェックを入れて「件名」と「本文」を編集し、「次へ」をクリックします。

※メールを送信しない場合はチェックを入れずに「OK」をクリックして完了です。

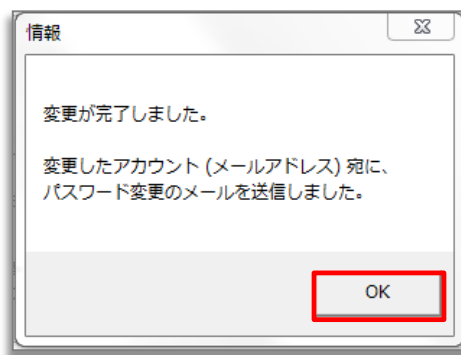
【通知内容の設定】

7. 「通知内容のプレビュー」が表示されるので、間違いがなければ「OK」をクリックします。

#### 【通知内容のプレビュー】



8. 変更完了後、「変更したアカウント宛てにパスワード変更のメールを送信しました」という情報画面が表示されます。「OK」をクリックして閉じます。



[組織情報変更]

# 会社の組織情報を設定する

---

部署（グループ）を作成して、部署単位で端末を設定・管理します。

- 2-1 部署を新規に作成・設定する
- 2-2 部署を削除する
- 2-3 部署名を変更する
- 2-4 部署を一括編集する
- 2-5 端末変更／削除、使用者変更の際  
に情報を更新する

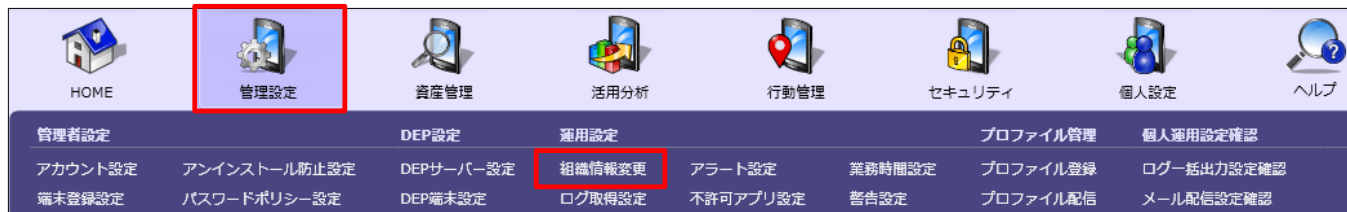
guide

2



# 部署を新規に作成・設定する

## 2-1



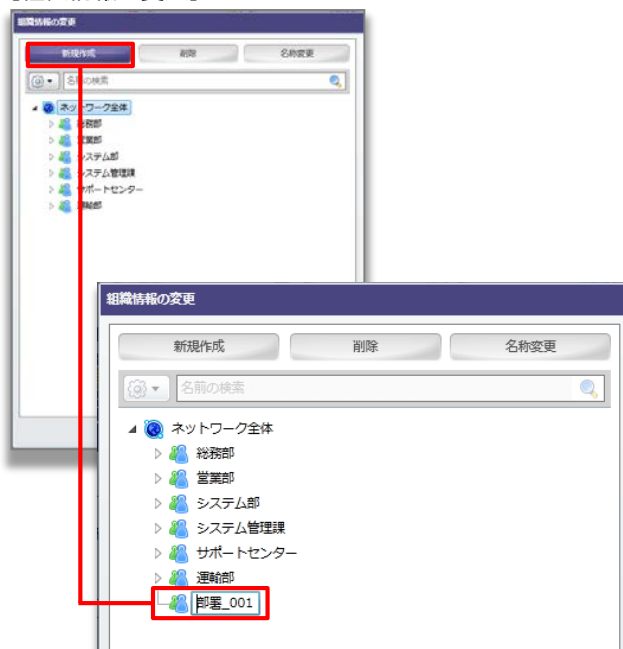
1. 「管理設定」メニューを選択し「組織情報変更」をクリックします。
2. 画面右側にある「変更」をクリックすると、「組織情報の変更」が開きます。

### 【組織情報変更】



3. 「新規作成」をクリックします。
4. 「(部署\_001)」と表示されるので、名称を変更し、「OK」をクリックします。
5. 必要に応じて、端末・部署をドラッグアンドドロップで移動させて、組織構成を変更します。

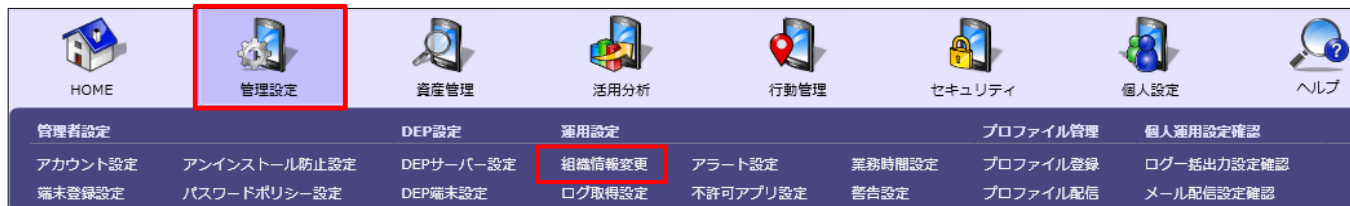
### 【組織情報の変更】





# 部署を削除する

## 2-2

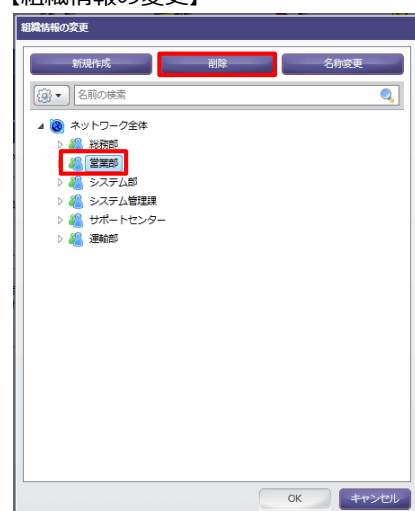


1. 「管理設定」メニューを選択し「組織情報変更」をクリックします。
2. 画面右側にある「変更」をクリックすると、「組織情報の変更」が開きます。
3. 削除したい管理端末もしくは部署名を選択し、「削除」をクリックします。

### 【組織情報変更】

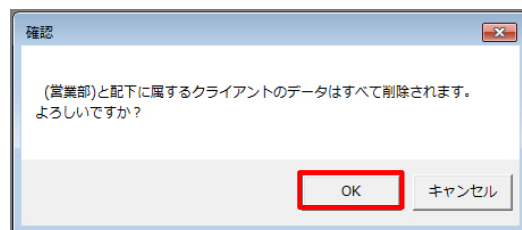


### 【組織情報の変更】



4. 確認ダイアログが表示されるので、問題がない場合は、「OK」をクリックします。

### 【組織情報の変更の確認】

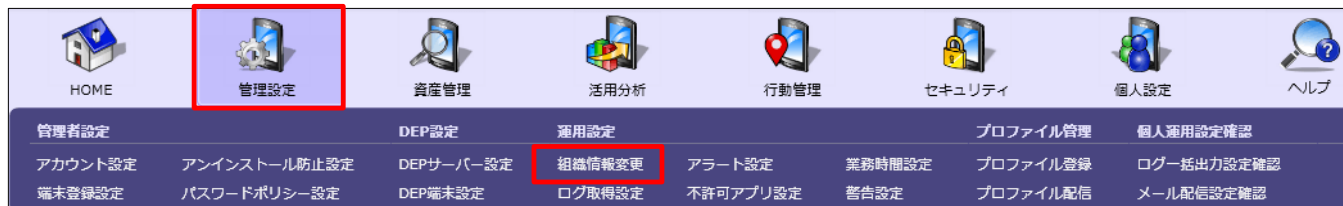


### ※注意事項

- 部署を削除すると部署に所属する端末の全データが削除されます。
- 端末を削除すると、その端末の情報は閲覧できなくなります。また、使用していたライセンスは別の端末に割り当てることが可能になります。

# 部署名を変更する

## 2-3



1. 「管理設定」メニューを選択し「組織情報変更」をクリックします。
2. 画面右側にある「変更」をクリックすると、「組織情報の変更」が開きます。
3. 名前を変更したい管理端末もしくは部署名を選択し、「名称変更」をクリックします。
4. 変更後の名称を入力し、「OK」をクリックします。

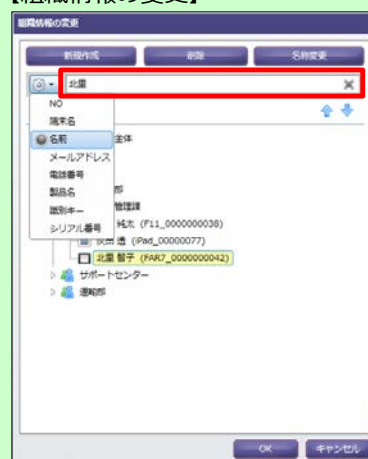
### 【組織情報変更】



### ●ポイント

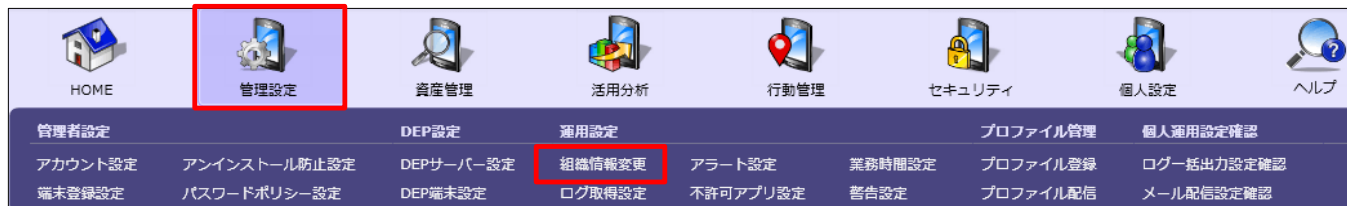
端末がどの部署にあるかわからない場合は、検索機能がおすすです。検索項目を設定し、検索キーワードを入力するだけで、どの部署で管理している管理端末かわかります。

### 【組織情報の変更】



# 部署を一括編集する

## 2-4

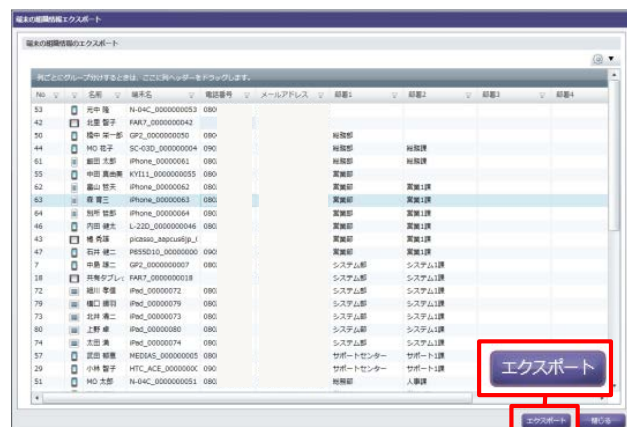


1. 「管理設定」メニューを選択し「組織情報変更」をクリックします。
2. 画面右側にある「エクスポート」をクリックすると「端末の組織情報エクスポート」が開きます。
3. 「エクスポート」をクリックして任意の場所にファイルを保存します。
4. 保存したファイルの部署1～5をExcel上で編集して保存します。

### 【組織情報変更】



### 【端末の組織情報エクスポート】



5. 1.の画面で「インポート」をクリックすると「端末情報インポート項目の選択」が開きます。

#### 【組織情報変更】



「参照」をクリックして4.で編集したファイルを選択し、インポート項目について、以下をそれぞれ設定します。

#### ①部署情報の削除設定

インポートすることで、現存する部署に所属する端末がなくなった場合に、その部署を削除するかどうかを選択します。

#### ②端末を一意に特定する項目の選択

「組織情報」と、「インポートファイル」を紐付けるための項目を「<」「>」ボタンで選択します。

紐付けが成立した端末のみ、③で選択した項目が更新されます。

また、「条件に一致する端末の複数更新を許可する」で、紐付けが成立する端末が複数あった場合に、そのすべての端末の情報を更新するかどうかを選択します。

#### ③更新項目の選択

更新する項目を「<」「>」ボタンで選択します。「自動選択」で自動的に選択することができます。

「次へ」をクリックすると確認ダイアログが表示されるので、問題なければ「OK」をクリックします。

#### 【端末情報インポート項目の選択】



# 端末変更／削除、使用者変更の際に 2-5 情報を更新する



## ◆機種変更など、端末の入替えが発生した場合

元々利用していた端末の情報をLanScope Anから削除し、新しい端末のためのライセンスを確保します。

1. 「管理設定」メニューを選択し「組織情報変更」をクリックします。
2. 画面右側にある「変更」をクリックすると、「組織情報の変更」が開きます。
3. 削除したい管理端末を選択し、「削除」をクリックします。
4. 確認メッセージがダイアログで表示されるので、問題無い場合は「OK」をクリックします。
5. ライセンス確保後、新しい端末の端末登録設定、およびプログラムのインストールを実施します。

利用していた端末からLanScope Anのプログラムをアンインストールする場合は「アンインストールガイド for Android」を、端末登録設定・インストール手順は「スタートアップガイド for Android」を参照してください。

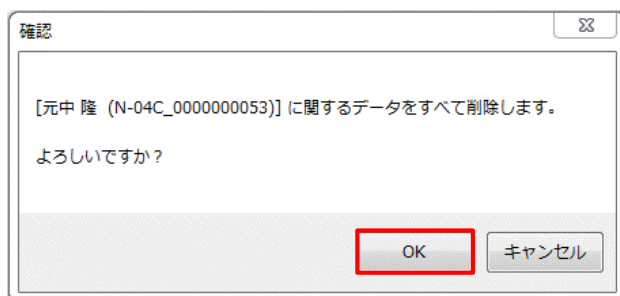
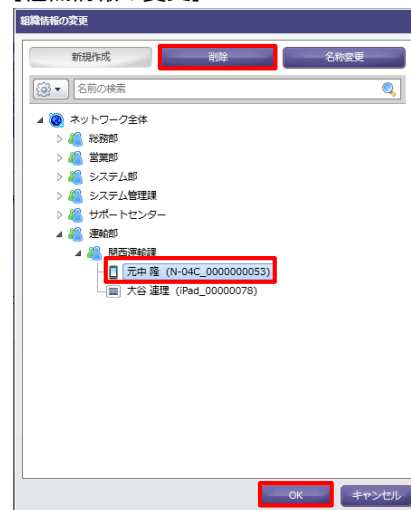
## ※注意事項

- ・ 端末の入れ替えなどで管理対象でなくなった端末は、管理コンソール上からは自動的に削除されません。  
別の端末にライセンスを割り当てるためには、この手順で、管理対象外の端末を削除する必要があります。
- ・ 端末を削除すると、その端末の情報は閲覧できなくなります。

## 【組織情報変更】



## 【組織情報の変更】





## ◆端末の利用者が変更になった場合

端末利用者の名前を編集します。

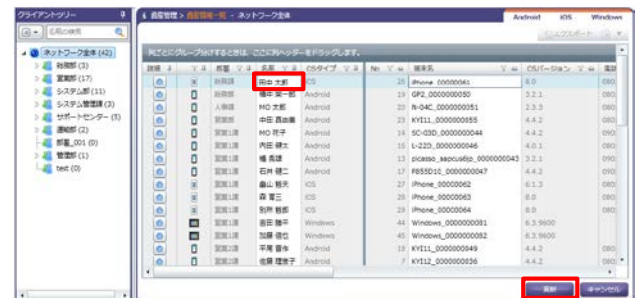
1. 「資産管理」メニューを選択し「資産情報一覧」をクリックします。
2. 画面右下の「資産情報の編集」をクリックすると、編集画面に切り替わります。

【資産情報一覧】

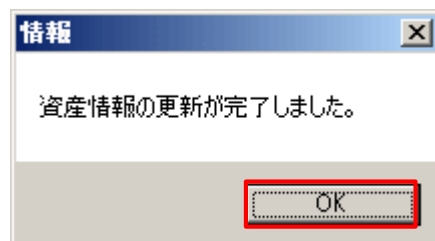


3. 「名前」を新しい使用者に書き換えて、「更新」をクリックします。

【資産情報一覧】



4. ダイアログが表示されるので「OK」をクリックします。



[運用設定]

## 業務時間を設定する

---

業務時間や業務曜日を設定することで、プライベートな時間は情報を取得しないといった運用が可能となります。

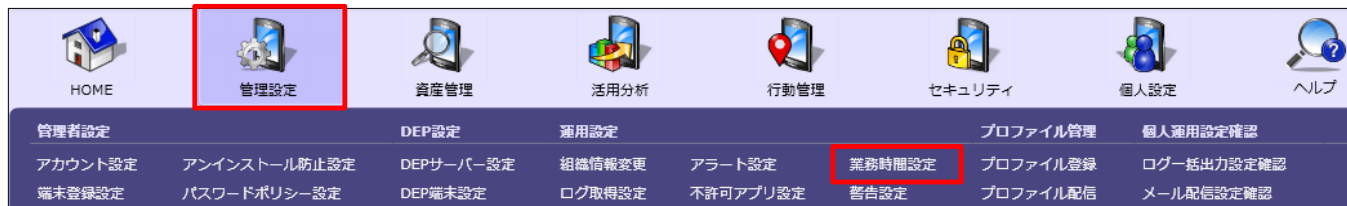
### 3-1 業務時間を設定する

guide

3

# 業務時間を設定する

## 3-1



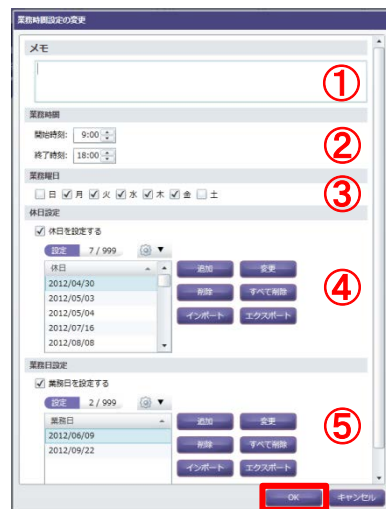
業務時間と業務曜日の設定をします。

1. 「管理設定」メニューを選択し、「業務時間設定」をクリックします。
2. 部署ツリーから設定を作成・変更したい部署を選択します。
3. 画面下部にある「新規」または「変更」をクリックすると「業務時間設定の作成（変更）」画面が開きます。  
※部署別設定を設定していない部署のみ「新規」を選択できます。
4. 以下のとおり設定を行います。

【業務時間設定】



【業務時間設定の変更】



- ① **メモ**： 設定内容の概要を記載する際に利用します。
- ② **業務時間**： 業務時間を設定します。  
開始時刻と終了時刻を設定してください。
- ③ **業務曜日**： 業務曜日を設定します。  
業務曜日にチェックを入れてください。
- ④ **休日設定**： 業務曜日ではあるが、休日に指定したい特定の日があれば追加します。
- ⑤ **業務日設定**： 業務曜日ではないが、業務日に指定したい特定の日があれば追加します。

5. 「OK」で設定を保存します。

### ■ 業務時間設定

| カテゴリ  | 概要                  |
|-------|---------------------|
| メモ    | 設定内容の概要を記載する        |
| 業務時間  | 管理端末から情報を取得する時間帯の設定 |
| 業務曜日  | 管理端末から情報を取得する曜日の設定  |
| 休日設定  | 管理端末から情報を取得しない日の設定  |
| 業務日設定 | 管理端末から情報を取得する日の設定   |



[ログ取得設定]

# 取得するログの内容を設定する

---

資産情報や各種ログなど、端末から取得する情報についての設定を行います。

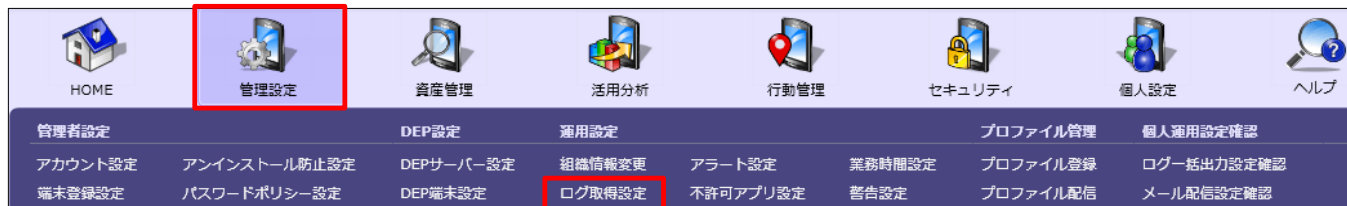
## 4-1 取得するログの内容を設定する

guide

4

# 取得するログの内容を設定する

## 4-1



取得するログの設定をします。

1. 「管理設定」メニューを選択し「ログ取得設定」をクリックします。
2. 部署ツリーから設定を作成・変更したい部署を選択します。
3. 右上のタブを「Android」に切り替えます。
4. 画面下部にある「新規」または「変更」をクリックすると、「ログ取得設定の作成（変更）」が開きます。  
※部署別設定を設定していない部署のみ「新規」を選択できます。
5. 「開示」「制御」「資産」「操作」「位置」ごとに設定を行います。メモ欄は設定内容の概要を記載する際に利用します。
6. 「OK」で設定を保存します。

### 【ログ取得設定】



### 【ログ取得設定の変更】



## ■ログ取得設定

| カテゴリ | チェック項目                             | 備考  |
|------|------------------------------------|---|
| メモ   | -                                  | 設定内容の概要を記載する。   |
| 開示   | 端末使用者に設定情報を開示する                    | 端末側で「業務時間設定」を含む設定情報を確認できる。  |
| 制御   | マルチユーザー機能を制御する<br>★1               | マルチユーザー機能を制御しない場合、端末の「ユーザー補助」設定の変更やユーザーの切り替えログは取得されません。               |
| 資産   | 資産情報を取得する                          | 資産情報を取得しない場合、資産アラートは発生しない。  |
|      | インストールアプリ情報を取得する                   | インストールアプリ情報を取得しない場合、不許可アプリインストールアラートは発生しない。また、インストールアプリ一覧にアプリが表示されない。 |
| 操作   | アプリ利用ログを取得する                       | アプリ利用ログを取得しない場合、不許可アプリ起動アラートは発生しない。                                   |
|      | アプリ利用ログを取得する<br>(業務時間のみ取得する)       | 「業務時間のみ取得する」を選択しない場合、業務時間外もログを取得する設定となる。                              |
|      | 電話利用ログを取得する                        | -   |
|      | 電話利用ログを取得する<br>(業務時間のみ取得する)        | 「業務時間のみ取得する」を選択しない場合、業務時間外もログを取得する設定となる。                              |
|      | Webサイト閲覧ログを取得する<br>★2              | Webサイト閲覧ログを取得しない場合、Webサイトアラートは発生しない。                                  |
|      | Webサイト閲覧ログを取得する<br>(業務時間のみ取得する) ★2 | 「業務時間のみ取得する」を選択しない場合、業務時間外もログを取得する設定となる。                              |
|      | 環境変更操作ログを取得する                      | 環境変更操作ログを取得しない場合、環境変更アラートは発生しない。                                      |
| 位置   | 位置情報を取得する                          | 位置情報を前回取得から何分後に取得するか設定可能。<br>(1分・3分・10分・30分・1時間・3時間)                  |
|      | 位置情報を取得する<br>(業務時間のみ取得する)          | 「業務時間のみ取得する」を選択しない場合、業務時間外もログを取得する設定となる。                              |
|      | 位置情報を取得する<br>(振動を検知しない)            | 「振動を検知せずに、設定された間隔で取得する」を選択しない場合は、移動などの端末の振動時に位置情報を取得する設定となる。          |

★1 Android 5.0以上の端末で利用できます。

★2 Android 6.0未満の端末で利用できます。

## ●ポイント

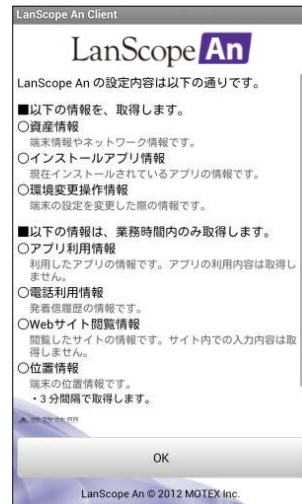
### ■端末から取得する情報について

「端末使用者に設定情報を開示する」を設定することで、端末使用者の方のプライバシー問題が発生するリスクを避けることができます。  
端末側で以下の操作をして設定内容を確認できます。

- ① メニュー画面のLanScope Anアイコンをタップします。
- ② 端末のメニューボタンからメニューを呼び出し「端末から取得する情報について」をタップします。

端末に適用されている設定内容が表示されます。

※業務時間設定の内容も含まれます。



## ■マルチユーザー制御機能について

「マルチユーザー機能を制御する」を設定した場合、端末側で「初期設定要求画面」が表示されます。端末側で以下の設定をすると、マルチユーザー制御機能が有効になります。

※機種により手順が異なる場合があります。

※詳細については、「スタートアップガイド for Android」を参照してください。

- ① 初期設定要求画面で「ユーザー補助」をタップします。
- ② 「LanScope An Client サービス」をタップします。
- ③ スライドして「LanScope An Client サービス」を「ON」にします。
- ④ 確認画面で「OK」をタップします。

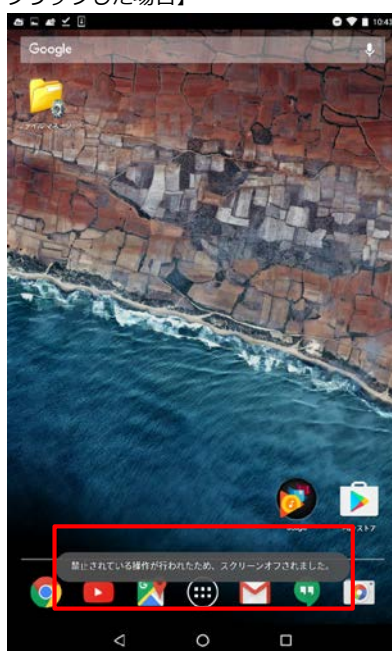


マルチユーザー機能を制御すると、ユーザーの追加や他のユーザーへの切り替えが端末上でできなくなり、画面には次のようなメッセージが表示されます。

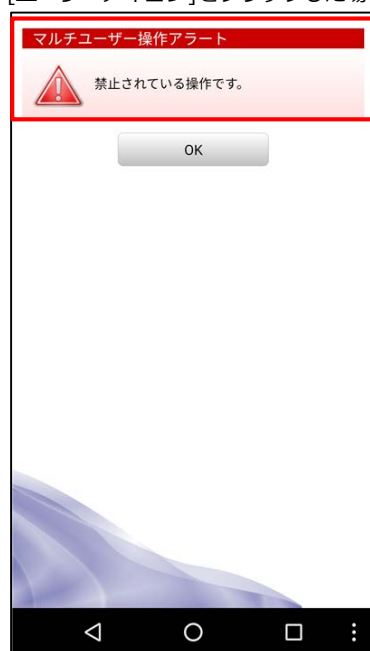
【「ユーザー補助」を変更しようとした場合】



【[システムバー]-[ユーザーアイコン]をクリックした場合】



【ロック画面上で [ユーザーアイコン] をクリックした場合】



[アラート設定]

## アラート内容を設定する

---

端末稼働や資産情報、アプリに関する情報を収集し、各端末上の変化を知ることができます。

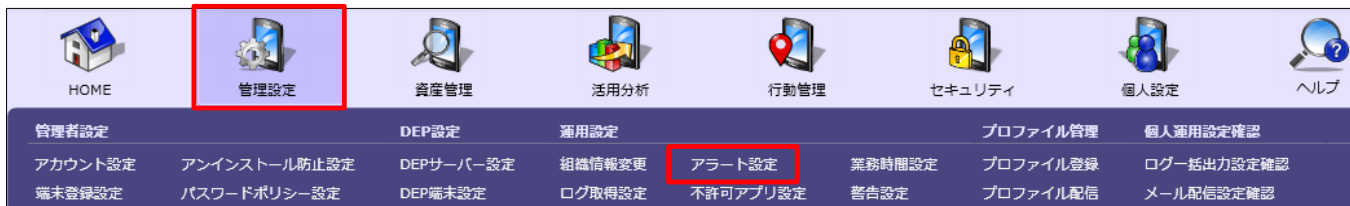
- 5-1 資産のアラート内容を設定する
- 5-2 操作のアラート内容を設定する
- 5-3 Webサイト閲覧アラートのキーワードを設定する
- 5-4 Webサイト閲覧アラートのキーワードをインポートする

guide

5

# 資産のアラート内容を設定する

5-1



1. 「管理設定」メニューを選択し「アラート設定」をクリックします。
2. 部署ツリーから設定を作成・変更したい情報を選択します。
3. 右上のタブを「Android」に切り替えます。

4. 画面下部にある「新規」または「変更」をクリックすると「アラート設定の作成（変更）」画面が開きます。  
※部署別設定を設定していない部署のみ「新規」を選択できます。

【アラート設定】



5. 「資産」に関するアラートを設定します。
6. メモ欄は設定内容の概要を記載する際に利用します。
7. 「OK」で設定を保存します。

※ 資産アラートが発生しているかは、「資産管理」メニューの「資産アラート」から確認できます。

## ※注意事項

「ログ取得設定 (p.33)」で資産情報を取得する設定をしていない場合、アラート設定でチェックを付けることはできません。

【アラート設定の変更】



## ■資産アラート

| カテゴリ | チェック項目         | 概要   |
|------|----------------|--|
| 端末稼働 | 端末未稼働          | 端末が指定した期間以上、稼働しなかったらアラートにする                                |
| 資産情報 | 空き容量 ★         | 空き容量が少なくなったらアラートにする  |
|      | リース有効期限 ★      | リース有効期限が近づいたらアラートにする<br>→[資産管理]-[資産情報一覧]の「リース期限」の設定が必要です   |
|      | 位置情報サービス無効 ★   | 位置情報サービスが無効になっていたらアラートとする                                  |
|      | パスワードポリシー非準拠   | パスワードがポリシーに準拠していなければアラートとする                                |
|      | Root化          | OSがRoot化されていたらアラートにする                                      |
|      | SIMカード挿入状態変化   | SIMカードの挿入状態が変化したらアラートにする<br>→SIMカードの有無および変更を検知し、アラートにします   |
|      | OSバージョン指定範囲外   | OSバージョンが指定の値以外の時にアラートにする<br>→最小、最大、もしくはその両方にOSバージョンを入力できます |
| アプリ  | 不許可アプリインストール ★ | 不許可アプリがインストールされていればアラートとする                                 |
|      | 必須アプリ未稼働 ★     | 必須アプリが稼働していなかったらアラートとする<br>(Android 7.0未満の端末で利用できません)      |

★：アラート発生時に、端末使用者に通知することができます。端末側の画面のイメージはp.42を参照してください。



# 操作のアラート内容を設定する

## 5-2



1. 「管理設定」メニューを選択し「アラート設定」をクリックします。
2. 部署ツリーから設定を作成・変更したい部署を選択します。
3. 右上のタブを「Android」に切り替えます。
4. 画面下部にある「新規」または「変更」をクリックすると、「アラート設定の作成（変更）」画面が開きます。  
※部署別設定を設定していない部署のみ「新規」を選択できます。
5. 「操作」に関するアラートを設定します。  
※操作アラートが発生した場合、「行動管理」メニューの「操作ログ」が赤色で表示されます。
6. メモ欄は設定内容の概要を記載する際に利用します。
7. 「OK」で設定を保存します。

### 【アラート設定】



### 【アラート設定の変更】



### ※注意事項

「ログ取得設定 (p.33)」で操作ログを取得する設定をしていない場合、アラート設定でチェックを付けることはできません。

### ■操作アラート

| カテゴリ   | チェック項目         | 概要  |
|--------|----------------|---|
| アプリ    | 不許可アプリ起動 ★     | 不許可アプリを起動したらアラートとする<br>→ 不許可にするアプリを設定 (p.43) する必要があります。 |
| Webサイト | 不正Webサイト閲覧 ★   | 不正なWebサイトを閲覧したらアラートとする<br>(Android 6.0未満の端末で利用できません)    |
| 環境変更   | 新規アプリインストール ★  | 新しくアプリをインストールしたらアラートとする                                 |
|        | タイムゾーン設定変更     | タイムゾーン設定を変更したらアラートとする                                   |
|        | SDカード抜き差し ★    | SDカードを抜き差ししたらアラートとする                                    |
| 端末管理   | デバイス管理者設定 ※    | LanScope An Clientがデバイス管理者から解除されたらアラートとする               |
|        | 使用履歴へのアクセス設定 ※ | 使用履歴へのアクセス設定がOFFになったらアラートとする                            |
|        | Anアンインストール ※   | パスワード認証に失敗したらアラートとする                                    |

★：アラート発生時に、端末使用者に通知することができます。端末側の画面のイメージはp.42を参照してください。

※ アラートにする／しないの設定はありません。強制的にアラートとして表示します。

# Webサイト閲覧アラートのキーワードを設定する

- Android 6.0未満の端末で利用できません

1. 「不正なWebサイトが閲覧されたらアラートとする」にチェックを入れます。
2. 「追加」をクリックすると、「アラートキーワードの入力」が開くのでアラートに設定したいWebサイトのURLのキーワードを入力します。※キーワードは部分一致です。

## 【アラート設定の変更】

3. キーワードを変更したい際は、変更したいキーワードを選択し、「変更」をクリックします。「アラートキーワードの編集」が開くので、キーワードを編集します。

## 【アラートキーワードの入力】

4. キーワードを削除したい際は、削除したいキーワードを選択し「削除」をクリックします。

## 【アラートキーワードの編集】



# Webサイト閲覧アラートのキーワードをインポートする

- Android 6.0未満の端末で利用できません

1. キーワードが入力されたファイルをインポートする場合は「インポート」をクリックしてインポートするファイルを選択します。

※インポートするファイルには、「URLアラートキーワード」とアラートにする「キーワード」が必要です。ファイルの1行目を「URLアラートキーワード」、2行目以降を登録する「キーワード」にして入力します。

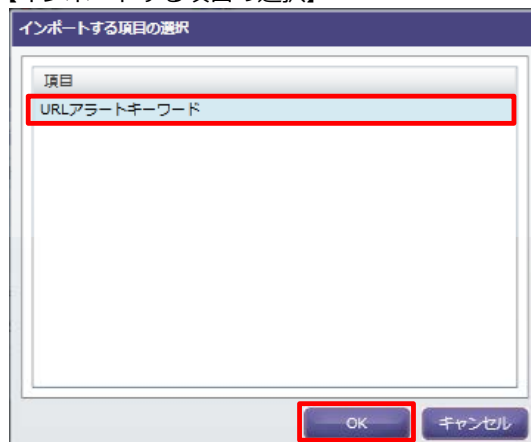
※右の画面でエクスポートしたファイルを編集し、追記してインポートすることも可能です。エクスポートするには「エクスポート」をクリックします。

【アラート設定の変更】

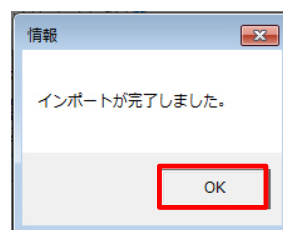


2. ファイルを選択すると、「インポートする項目の選択」が開くので、項目を選択し「OK」をクリックします。

【インポートする項目の選択】



3. 「インポートが完了しました」というメッセージがダイアログで表示されます。「OK」をクリックして、設定した内容を保存します。



※登録しているアラートキーワードの一覧は、エクスポートもできます。エクスポートボタンをクリックして、エクスポートしたファイルの保存場所を選択すると、「エクスポートが完了しました」というメッセージがダイアログで表示されます。

※ヘルプページの「Webサイト閲覧アラートURLデータ」にサンプルキーワードをご準備していますので、インポートしてご利用ください。



## ● ポイント

各アラートを設定する際に、「アラート発生時、端末使用者に通知する」にチェックを入れると、アラートが発生した際、端末側に警告画面が表示されます。

また、「不許可アプリ設定」(p.43)で禁止アプリを設定している場合、端末側に警告画面を表示して、禁止アプリを強制的に使用できない状態にすることが可能です。

マルチウィンドウモードで禁止アプリを起動した場合、マルチウィンドウモードが解除され、警告画面が表示されます。

## ・ 画面表示例



[不許可アプリ設定]

# 会社として許可／不許可のアプリを設定する

---

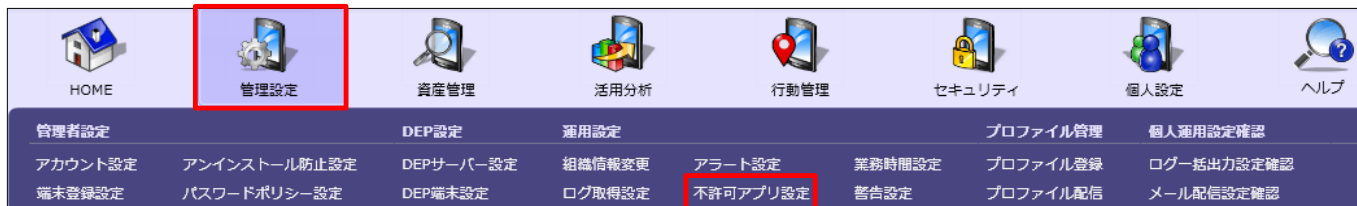
アプリを許可・保留・不許可アプリに分類します。また、社内で新たにインストール情報が取得されたアプリをどの分類に所属させるかを設定します。

- 6-1 新たにインストール情報が取得されたアプリの分類設定をする
- 6-2 インストールされたアプリの許可レベルを設定する
- 6-3 インストールされたアプリの許可設定を一括編集する

guide

6

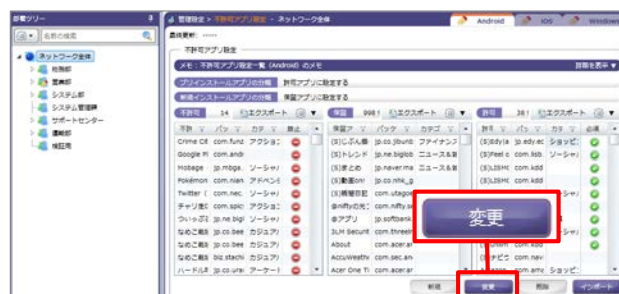
# 新たにインストール情報が取得されたアプリの分類設定をする



社内で新たにインストール情報が取得されたアプリについて、自動的にどの項目に分類するのかを設定します。項目は「保留」「許可」「不許可」「禁止」から選択できます。

1. 「管理設定」メニューを選択し「不許可アプリ設定」をクリックします。
2. 部署ツリーから「ネットワーク全体」を選択します。  
※インストールされたアプリの分類設定は、部署別の設定はできません。
3. 右上のタブを「Android」に切り替えます。
4. 画面下部にある「変更」をクリックすると、「不許可アプリ設定の変更」が開きます。

【不許可アプリ設定】

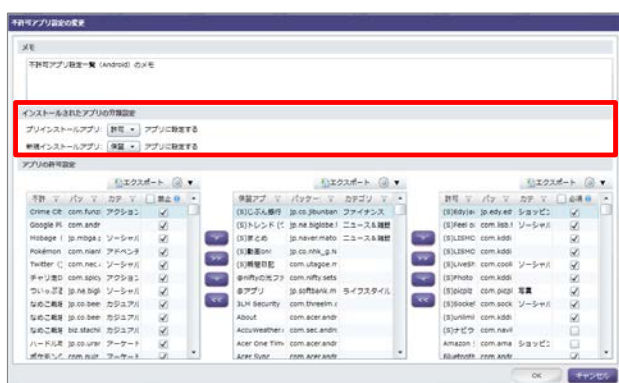


5. 「インストールされたアプリの分類設定」で、プリインストールアプリ、新規インストールアプリについて、それぞれ分類設定を行います。以下の設定が可能です。

- ・保留アプリに設定する
- ・許可アプリに設定する
- ・不許可アプリに設定する ※
- ・禁止アプリに設定する ※

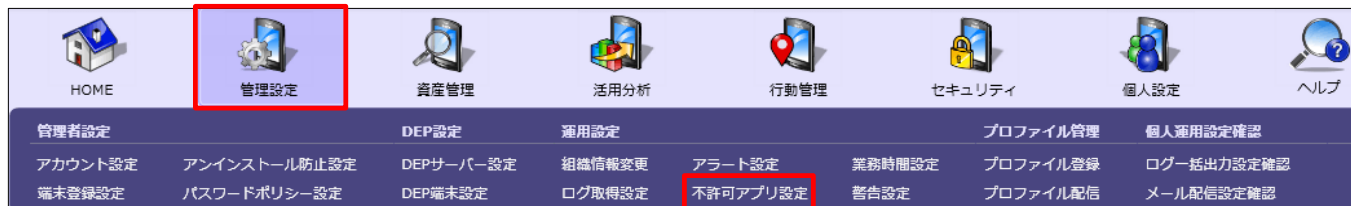
※社内で新たにインストール情報が取得されたプリインストールアプリについては、自動的に「不許可アプリ」「禁止アプリ」に分類できません。プリインストールアプリを禁止したい場合は「インストールされたアプリの許可レベルを設定する」(p.45)の方法で分類してください。

【不許可アプリ設定の変更】



# インストールされたアプリの許可レベルを設定する

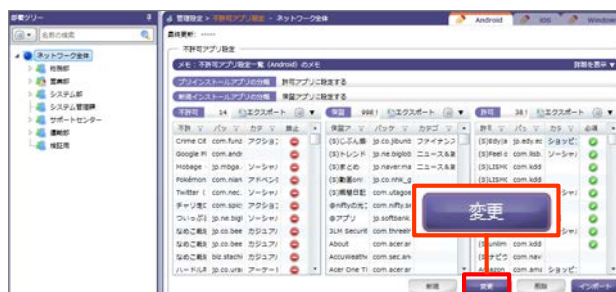
## 6-2



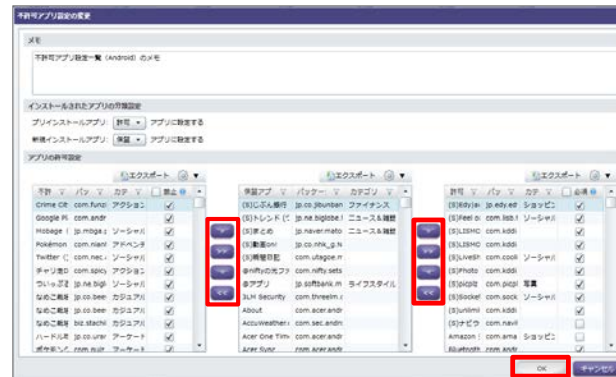
社内で既にインストール情報が取得されたことがあるアプリについて、どの項目に分類するのかが設定します。項目は「保留」「許可」「必須」「不許可」「禁止」から選択できます。

1. 「管理設定」メニューを選択し「不許可アプリ設定」をクリックします。
2. 部署ツリーから設定を作成・変更したい部署を選択します。
3. 右上のタブを「Android」に切り替えます。
4. 画面下部にある「新規」または「変更」をクリックすると、「不許可アプリ設定の作成（変更）」画面が開きます。  
※部署別設定を設定していない部署のみ「新規」を選択できます。
5. 1つずつアプリの許可レベルを設定したい場合は、該当するアプリをクリックして、「>」「<」をクリックして移動させます。複数のアプリをまとめて分類したい場合は、複数のアプリを選択し、「>」「<」をクリックして移動させます。
6. 分類されたアプリすべてを別のカテゴリに移動させたい場合（保留アプリをすべて不許可アプリに分類する）は、「>>」「<<」をクリックして移動させます。
7. アプリの分類が完了したら「OK」をクリックして設定を保存します。

【不許可アプリ設定】



【不許可アプリ設定の変更】

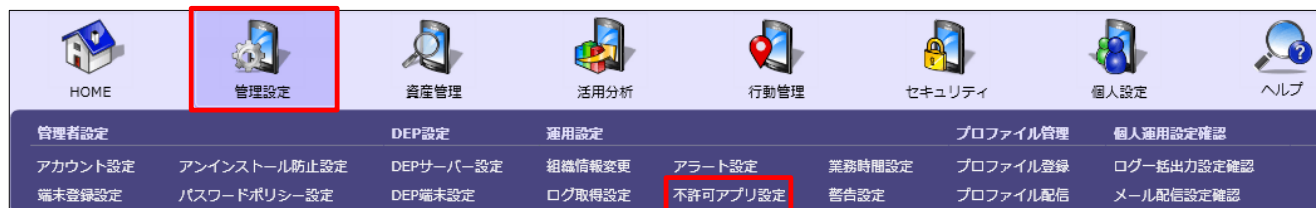


## ●ポイント

- 「許可アプリ」に設定されたアプリは「必須」欄にチェックを入れることで「必須アプリ」として登録ができます。必須アプリが稼働していない場合にアラートにするには、あわせて以下の設定が必要です。
  - ・「資産アラート設定」(p.38)の「必須アプリが稼働していなかったらアラートとする」
  - ・「警告設定」(p.54)の「未稼働だった必須アプリがある(48時間以内)」※Android 7.0未満の端末で利用できます。
- 「不許可アプリ」に設定されたアプリは「禁止」欄にチェックを入れることで「禁止アプリ」として登録ができます。端末でアプリの使用を禁止するには、あわせて以下の設定が必要です。
  - ・「ログ取得設定」(p.34)の「アプリ利用ログを取得する」
  - ・「操作アラート設定」(p.39)の「不許可アプリを起動したらアラートとする」「アラート発生時、端末使用者に通知する」※禁止アプリを起動した時に端末側に表示される画面についてはp.42を参照してください。
- LanScope An Clientと、ホームアプリ（ホーム画面をカスタマイズできるアプリ）は禁止設定を行っても禁止されません。
- ネットワーク全体と部署で設定しているアプリの分類が異なる場合、アプリ名が青色で表示されます。

## 6-3

# インストールされたアプリの許可設定を一括編集する



社内で既にインストール情報が取得されたことがあるアプリについて、一括で分類設定を行います。項目は「保留」「許可」「不許可」「禁止」から選択できます。

1. 「管理設定」メニューを選択し「不許可アプリ設定」をクリックします。
2. 右上のタブを「Android」に切り替えます。
3. 部署ツリーから設定を一括編集したい部署を選択します。
4. 「不許可」「保留」「許可」の中で編集したい分類の横にある「エクスポート」ボタンをクリックして編集元になるファイルを保存します。

※「パッケージ名」（パッケージ名はアプリ名ではありません）が表示されていない場合は、歯車アイコンから「表示項目の設定」をクリックして「パッケージ名」にチェックを入れてからエクスポートしてください。

5. エクスポートしたファイルをExcel上で編集して保存します。インポートする時に必要になるため、パッケージ名もあわせて編集します。

※「不許可」の場合は各アプリの「禁止」列に、「許可」の場合は各アプリの「必須」列に○を記入すると、そのアプリを「禁止アプリ」「必須アプリ」に設定することができます。

6. 「不許可アプリ設定」画面の「インポート」をクリックします。「インポート項目の選択」画面が開くので、「参照」から5.で編集したファイルを選択します。

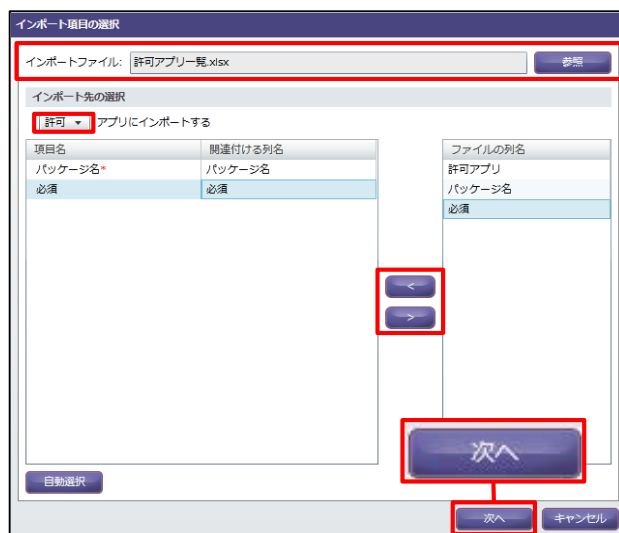
インポート先を「不許可／保留／許可」から選択し、それぞれの項目を「<」「>」で紐付けてから、「次へ」をクリックします。

「自動選択」を選択した場合は、自動で同じ名前の項目が「ファイルの列名」から選択され「関連付ける列名」に追加されます。

【不許可アプリ設定】



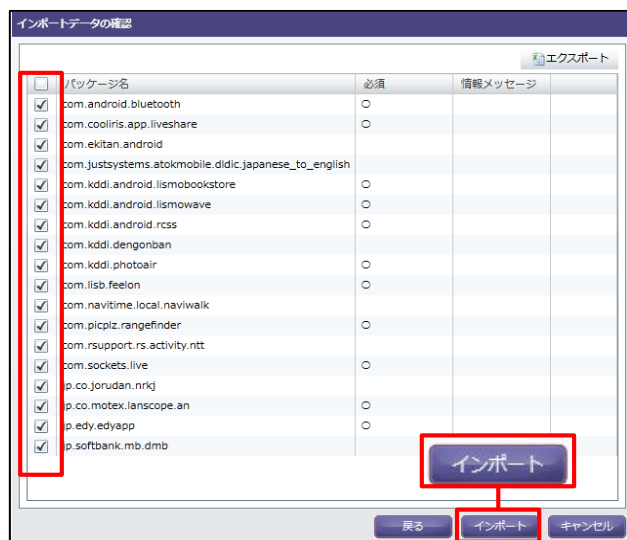
【インポート項目の選択】



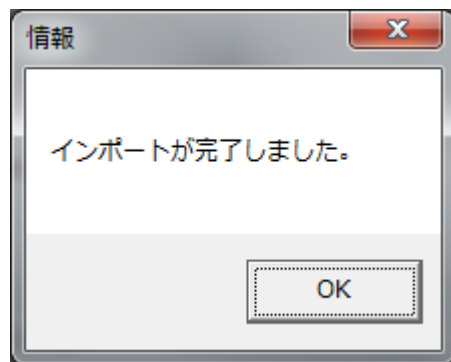


7. 「インポートデータの確認」画面が開きます。インポートしたいデータにチェックを入れて、「インポート」をクリックします。

#### 【インポートデータの確認】



8. ダイアログが表示されるので「OK」をクリックします。



#### ※注意事項

以下の条件に当てはまるアプリはインポートすることができません。

- 登録されていないアプリ（どの端末にもインストールされたことがないアプリ）  
⇒インポートデータの確認画面で情報メッセージ「登録されていないアプリが指定されています」が表示されます。
- インポートファイル内に同じアプリが存在している  
⇒インポートデータの確認画面で情報メッセージ「アプリが重複して指定されています」が表示されます。

どちらも該当のアプリのインポートのチェックが自動的に外されます。

「インポート」をクリックすれば、そのまま他のアプリのインポートを続けることが可能です。



[パスワードポリシー設定]

# 端末のパスワードポリシーを設定する

管理対象端末のパスワードポリシーを設定し、セキュリティを向上させます。

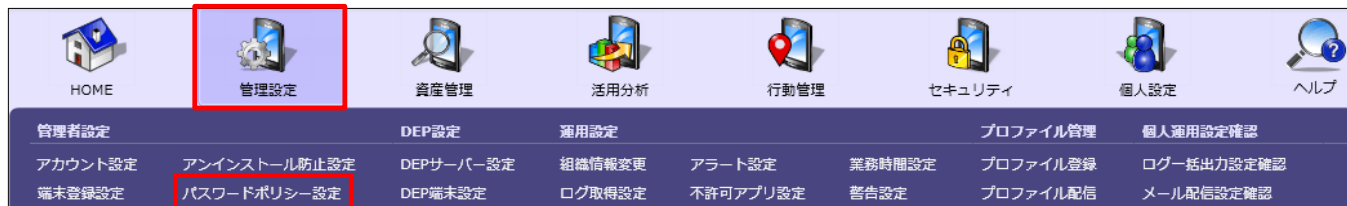
## 7-1 端末のパスワードポリシーを設定する

guide



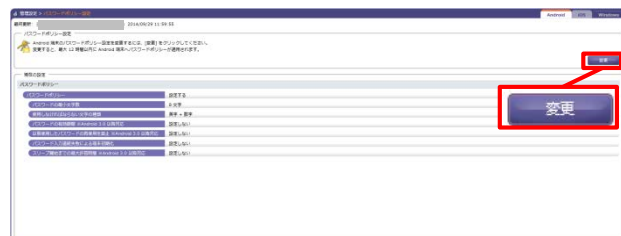
# 端末のパスワードポリシーを設定する

## 7-1



1. 「管理設定」メニューを選択し「パスワードポリシー設定」をクリックします。
2. 右上のタブを「Android」に切り替えます。
3. 「変更」をクリックします。
4. 「パスワードポリシー設定の変更」画面が開きます。  
「パスワードポリシーを設定する」にチェックを入れた上で、それぞれのパスワードポリシーを設定します。
5. 「OK」をクリックして設定を保存します。

### 【パスワードポリシー設定】



### 【パスワードポリシー設定の変更】



### ■パスワードポリシー設定

| カテゴリ      | チェック項目              | 概要   |
|-----------|---------------------|--|
| パスワードポリシー | パスワードポリシーを設定する      | -  |
| 設定        | パスワードの最小文字数         | 4～16文字まで設定可能。  |
|           | 使用しなければならない文字の種類    | 数字/英字/英字+数字/英字+数字+記号（Android 3.0以降）より選択する。                                       |
|           | パスワードの有効期限          | 1～730日まで設定可能。（Android 3.0以降）   |
|           | パスワードの有効期限を事前に通知    | 1～5日前から有効期限切れの警告を表示する。（Android 3.0以降）  |
|           | 以前使用したパスワードの再使用を禁止  | 1～12件前までのパスワードを使用できないように設定する。  |
|           | パスワード入力連続失敗による端末初期化 | 1～10回までパスワード入力に失敗すると端末を初期化する。  |
|           | スリープ開始までの最大許容時間     | 15秒/30秒/1分/2分/5分/10分/30分より選択する。<br>指定した時間を経過すると、端末をスリープ状態にする。<br>（Android 3.0以降） |

## ● ポイント

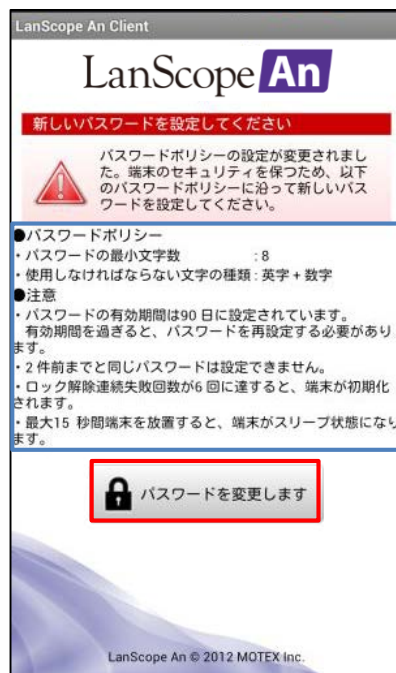
パスワードポリシー設定の設定内容に応じて、端末側に以下の画面が表示されます。

### 1. 管理者が設定したパスワードポリシーに準拠していない場合

(パスワードポリシーを新しく設定した場合／パスワードの有効期限が切れた場合を含みます)

端末使用者がパスワードポリシーに準拠したパスワードに変更するまでは、画面ロック状態を解除するたびに、右の「パスワード変更要求画面」が表示され続けます。また、端末の通知領域に「LanScope An パスワード変更要求通知」が表示されます。「パスワードを変更します」をタップするとその端末のパスワード変更画面が表示されます。

#### ▼端末通知領域 表示例

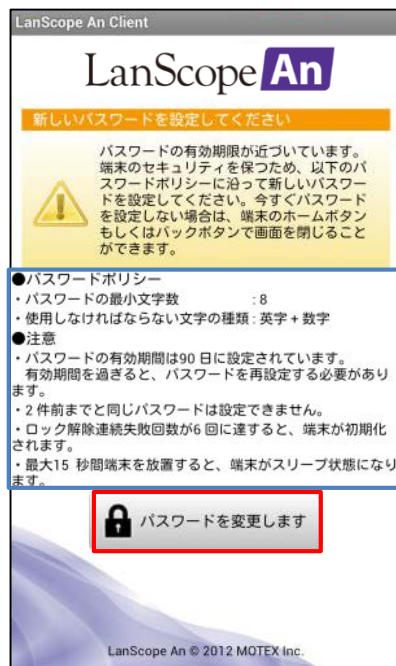



### 2. 「パスワードの有効期限を事前に通知」で設定した日を迎えた場合

端末を起動した時、もしくは12時間ごとに右の「パスワード有効期限通知画面」が表示されます。端末使用者がパスワードポリシーに準拠したパスワードに変更するまでは、端末の通知領域に「LanScope An パスワード有効期限通知」が表示され続けます。※パスワードの有効期限が切れた場合は1.の通知や画面が表示されます。

「パスワードを変更します」をタップするとその端末のパスワード変更画面が表示されます。

#### ▼端末通知領域 表示例



※  内の記載内容はパスワードポリシーの設定によって異なります。

[警告設定]

# 端末のセキュリティ基準を設定する

---

セキュリティリスクの警告基準を、自社の運用にあわせて設定できます。

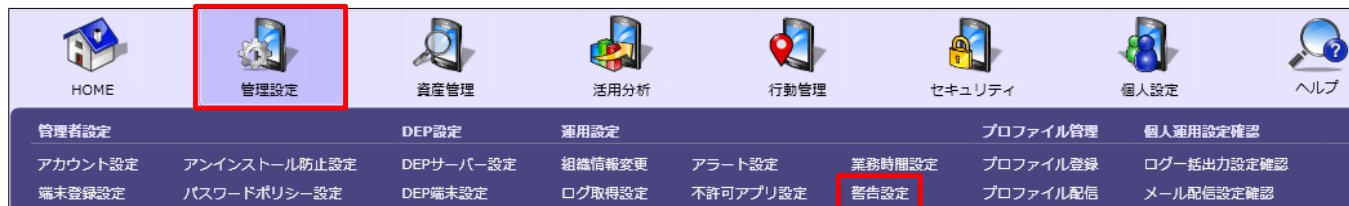
## 8-1 端末のセキュリティ基準を設定する

guide

8

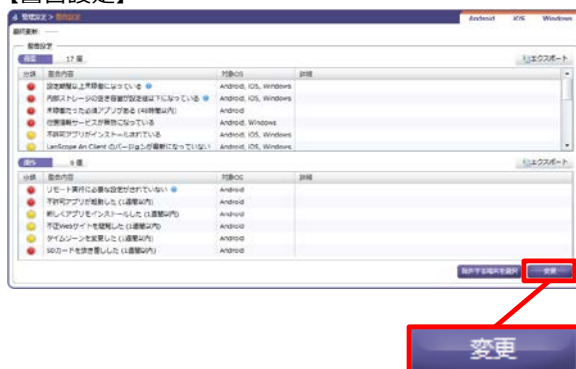
# 端末のセキュリティ基準を設定する

## 8-1



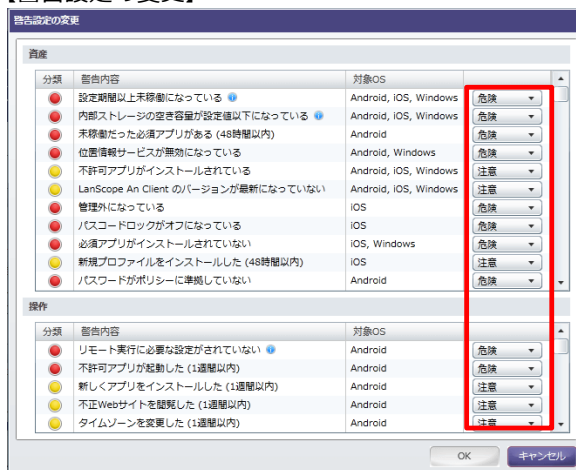
1. 「管理設定」メニューを選択し「警告設定」をクリックします。
2. 画面右下にある「変更」をクリックします。  
「警告設定」画面が開きます。

### 【警告設定】



3. 警告内容の一覧が表示されるので、それぞれ「危険」「注意」「警告なし」に設定し、「OK」をクリックします。

### 【警告設定の変更】



### ※注意事項

- ・「警告設定を変更する権限を付与する」の設定権限が有効になっているアカウントのみ、警告設定を変更することができます。(p.17参照)
- ・警告設定で設定した内容が、「警告端末一覧」画面の警告として反映されます。  
(別紙「セキュリティ機能ガイド」参照)

■警告設定一覧（デフォルト設定）

| 区分 | カテゴリ | 警告判断基準                              | 対象OS                |
|----|------|-------------------------------------|---------------------|
| 危険 | 資産   | 設定期間以上未稼働になっている (※1)                | Android,iOS,Windows |
|    |      | 内部ストレージの空き容量が 設定値以下になっている (※1)      | Android,iOS,Windows |
|    |      | 未稼働だった必須アプリがある (48時間以内) (※5)        | Android             |
|    |      | 位置情報サービスが無効になっている                   | Android             |
|    |      | 管理外になっている (※3)                      | iOS                 |
|    |      | パスコードロックがオフになっている                   | iOS                 |
|    |      | 必須アプリがインストールされていない                  | iOS,Windows         |
|    |      | パスワードがポリシーに準拠していない                  | Android             |
|    |      | リモートワイプが無効になっている                    | Windows             |
|    |      | Root化されている                          | Android             |
|    |      | Jailbreakされている                      | iOS                 |
| 危険 | 操作   | リモート実行に必要な設定がされていない (※2)            | Android             |
|    |      | 不許可アプリが起動した (1週間以内)                 | Android             |
|    |      | SDカードを抜き差しした (1週間以内)                | Android             |
| 注意 | 資産   | 不許可アプリがインストールされている                  | Android,iOS,Windows |
|    |      | LanScope An Client のバージョンが最新になっていない | Android,iOS,Windows |
|    |      | 新規プロファイルをインストールした                   | iOS                 |
|    |      | SIMカードの挿入状態が変化した (48時間以内)           | Android,iOS         |
|    |      | OSバージョンが指定した範囲から外れている               | Android,iOS         |
| 注意 | 操作   | 設定日数以内でリース切れになる (※1) (※4)           | Android,iOS,Windows |
|    |      | 新しくアプリをインストールした (1週間以内)             | Android             |
|    |      | 不正Webサイトを閲覧した (1週間以内)               | Android             |
|    |      | タイムゾーンを変更した (1週間以内)                 | Android             |

※1 未稼働日数の設定・空き容量の設定・リース期限切れ何日前にアラートとするかについてはアラート設定で行えます。

※2 リモートロック・ワイプの実行には、Android端末で以下の設定が必要です。

・LanScope An Client のアプリをデバイス管理者に登録

※3 An構成プロファイルが取り除かれた端末を「管理外」として認識します。

※4 リース期限日の設定は「資産情報一覧」の「リース期限」項目で行えます。

※5 Android 7.0未満の端末で利用できます。

[メール配信設定]

# 警告レポートメールの配信設定をする

警告設定に抵触する端末があった場合に、管理者にメールで通知するための設定ができます。

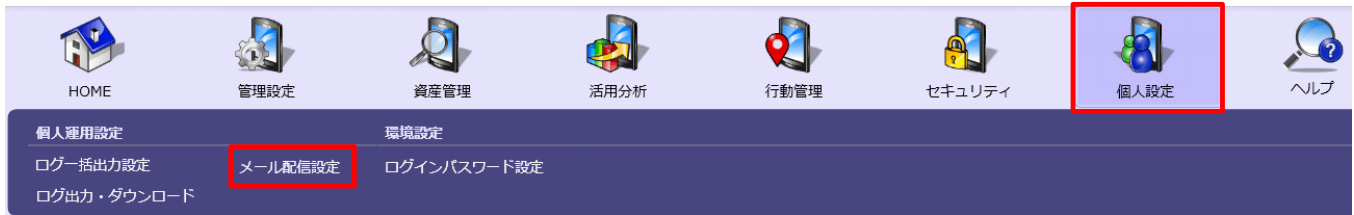
## 9-1 警告レポートメールの配信設定をする

guide

9

# 警告レポートメールの配信設定をする

## 9-1



1. 「個人設定」メニューを選択し「メール配信設定」をクリックします。
2. 画面右下にある「追加」または「変更」をクリックします。  
「メール配信設定の追加（変更）」が表示されます。

### 【メール配信設定】



3. 各項目を設定し、「OK」をクリックします。

#### ①設定名：

メールの配信設定に名前をつけます。

#### ②配信種類：

警告設定の「危険」「注意」を通知するか、「危険」のみ通知するかを選択します。

#### ③通知条件：

警告がない場合に、その旨の通知を送るかどうかを選択します。

#### ④対象部署：

対象部署として設定した部署で発生した警告が、送信先メールアドレスに通知されます。

#### ⑤集計単位：

端末単位で集計するか、警告単位で集計するかを選択します。「プレビュー」からイメージを確認できます。

### 【メール配信設定の追加】



### ※注意事項

- どの状態を「危険」・「注意」とするかは警告設定（p.53）で設定します。
- 管理設定の各種設定が有効になっていない場合、警告内容は通知されません。
- 前日発生した警告内容を、午前1時から午前7時ごろに1回、設定された送信先に通知します。リアルタイムには通知しません。



## ⑥送信先：

メールの送信先を設定します（1つのメール配信設定あたり最大20件）。「追加／変更」をクリックして設定したいタブを選択し、次のとおり設定します。

### ・「登録アカウントより選択」タブ：

[管理設定]-[アカウント設定]で管理コンソールへのログインアカウントとして設定しているメールアドレス宛に送信したい場合に選択します。

送信するアカウントにチェックを入れ、「OK」をクリックします。

送信先一覧

送信先には登録アカウントより選択、または 任意のメールアドレスを設定することができます。

送信先 / 設定可能送信先 1 / 20

登録アカウントより選択 任意のメールアドレスを設定

アカウント (メールアドレス) アカウント表示名

|                                     |              |           |
|-------------------------------------|--------------|-----------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | @motex.co.jp | 情報システム担当用 |
|-------------------------------------|--------------|-----------|

説明 設定者の表示権限に従って通知内容が作成されます。送信先には同じ内容のメールが通知されます。

OK キャンセル

### ・「任意のメールアドレスを設定」タブ：

管理コンソールへのログインアカウントとして登録していないメールアドレス宛に送信したい場合に選択します。

「追加」をクリックして「メールアドレス（必須）」と「表示名」を入力し、「OK」をクリックします。

送信先一覧

送信先には登録アカウントより選択、または 任意のメールアドレスを設定することができます。

送信先 / 設定可能送信先 2 / 20

登録アカウントより選択 任意のメールアドレスを設定

メールアドレス 表示名

|              |           |
|--------------|-----------|
| @motex.co.jp | 営業部門管理担当用 |
|--------------|-----------|

説明 設定者の表示権限に従って通知内容が作成されます。送信先には同じ内容のメールが通知されます。

OK キャンセル

送信先の追加

\* メールアドレス: @motex.co.jp

表示名: 営業部門管理担当用

OK キャンセル

## ●ポイント

- 管理者の権限を持っているユーザーは[管理設定]-[メール配信設定確認]から全ユーザーの設定内容を確認できます。
- 管理コンソールのログインアカウントとして設定しているメールアドレスの場合、「送信先」設定欄のメールアドレス横にアイコン (👤) が表示されます。

## ※注意事項

「警告レポートメールの配信設定で他のアカウントを宛先に指定する権限を付与する」の設定権限が無効になっている場合、他のアカウントを送信先として指定することはできません。

[ログ一括出力設定]

## ログの一括出力設定をする

---

LanScope Anで取得したログを、一括で出力することができます。

- 10-1 ログ出力条件を設定する
- 10-2 ログを出力してダウンロードする

guide

# 10

# ログ出力条件を設定する

10-1



1. 「個人設定」メニューを選択し「ログ一括出力設定」をクリックします。
2. 画面下部にある「追加」（もしくは「変更」）をクリックします。  
「一括出力設定の追加（変更）」画面が表示されます。
3. 出力設定名や出力期間などを設定し、「次へ」をクリックします。  
設定内容は「■一括出力設定」の表を参照してください。  
部署と端末の一覧が表示されます。
4. 出力の対象にする部署（3.で出力対象を「端末指定」にした場合は端末）を選択します。
5. 設定後、「OK」をクリックします。

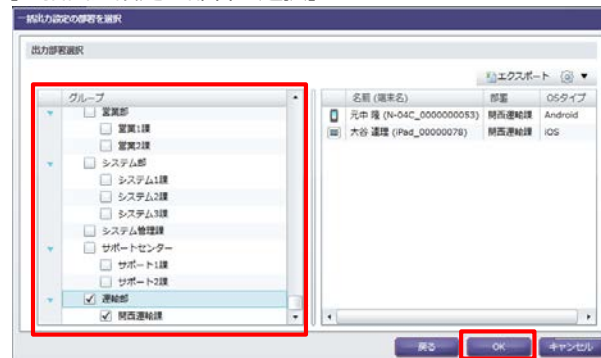
## 【ログ一括出力設定】



## 【一括出力設定の追加】



## 【一括出力設定の部署を選択】

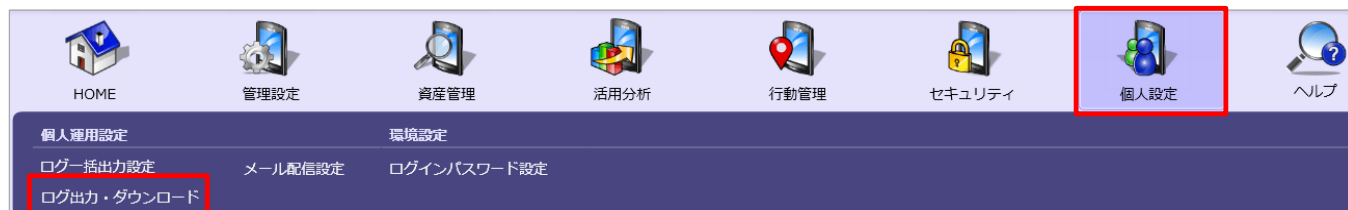


## ■一括出力設定

| 項目      | 概要  |
|---------|---|
| 設定名     | 出力設定に名前をつけます。                                 |
| ファイルの種類 | CSV（カンマ区切り）（*.csv）／Excelブック（*.xlsx）から選択します。   |
| ログ種類    | 操作ログ／移動ログから選択します。                             |
| 出力期間    | ラジオボタン、もしくはカレンダーボタンで出力期間を選択します。出力期間は最大3ヶ月間です。 |
| 出力対象    | 端末指定／部署指定から選択します。                             |

# ログを出力してダウンロードする

10-2



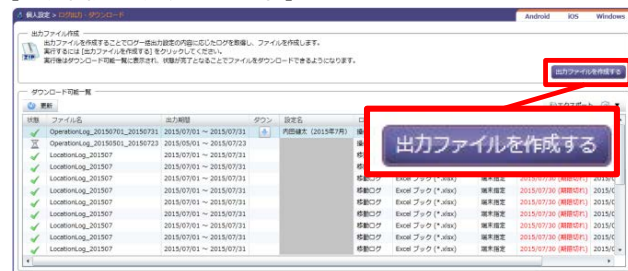
1. 「個人設定」メニューを選択し「ログ出力・ダウンロード」をクリックします。
2. 「出力ファイルを作成する」をクリックします。「出力ファイル作成」画面が表示されます。
3. ログを出力する条件（設定名）にチェックを入れ、「作成する」をクリックします。
4. 確認ダイアログが表示されます。問題なければ「OK」をクリックします。
5. 「ログ出力・ダウンロード」画面に戻るので、設定した条件のダウンロードファイルの状態欄を確認します。「更新」ボタン（①）をクリックして状態欄が「ログ出力完了」（②）になれば、ダウンロードボタン（③）をクリックしてファイルをダウンロードします。

これでログの出力は完了です。

※「ダウンロード期限」（出力ファイルを作成した日から7日後）を過ぎるとダウンロードできなくなります。その場合は再度出力ファイルを作成してからダウンロードしてください。

※管理者権限のユーザーは[管理設定]-[ログ一括出力設定確認]から全ユーザーの一括出力設定内容を確認できます。また「ダウンロード履歴確認」をクリックして、ファイルダウンロードの履歴を確認できます。

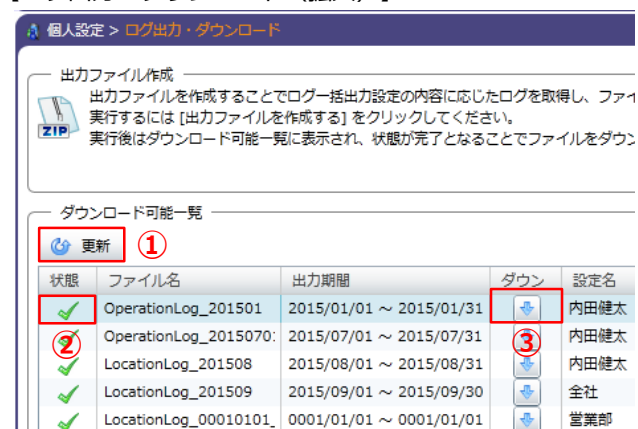
## 【ログ出力・ダウンロード】



## 【出力ファイル作成】



## 【ログ出力・ダウンロード（拡大）】



## ■状態一覧

| アイコン | ステータス         |
|------|---------------|
|      | ログを出力中です。     |
|      | ログの出力が完了しました。 |

[アンインストール防止設定]

# 意図しないアンインストールが発生しないように設定する

LanScope An Clientを管理者の意図に反して、アンインストールできないようにパスワードを設定できます。

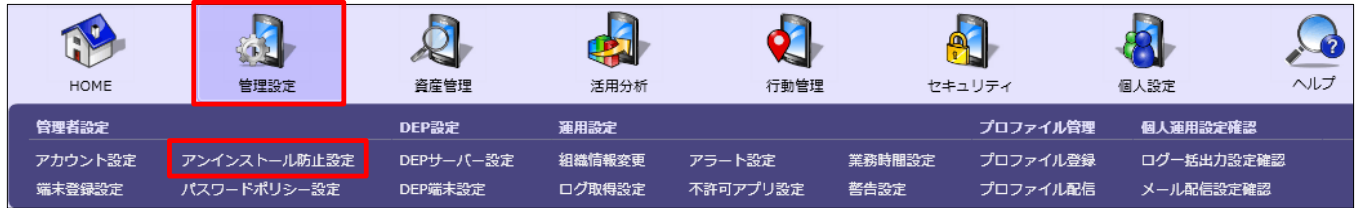
## 11-1 意図しないアンインストールが発生しないように設定する

guide

# 11

# 意図しないアンインストールが発生しないように設定する

11-1



※Android 7.0以降には対応していません。

また、LanScope An Client Ver.2.7.6.0以降をご利用の場合は、Android OS のバージョンを問わず、対応していません。

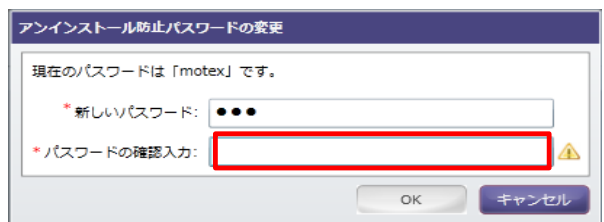
1. 「管理設定」メニューを選択し「アンインストール防止設定」をクリックします。
2. 画面右側にある「変更」をクリックします。  
「アンインストール防止パスワードの変更」画面が開きます。

## 【アンインストール防止設定】



3. あらかじめ設定されているパスワードから変更したい新しいパスワードを入力します。

## 【アンインストール防止パスワード設定】



## ※注意事項

- 管理者権限が付与されていない場合、「アンインストール防止パスワード設定」は表示されません。
- パスワードは大文字と小文字を区別します。
- 利用可能な文字は以下に羅列する半角英数記号文字です。※¥を除きます  
0123456789abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
! " # \$ % & ' ( ) \* + , - . / : ; < = > ? @ [ \ ] ^ \_ ` { | } ~

## お問い合わせ先

---

# お問い合わせ先

■製品に関するご相談は、次のWebフォームよりお問い合わせください。

- ご購入後の機能・操作に関するお問い合わせ  
<https://go.motex.co.jp/l/320351/2017-06-21/ffyl?>
- ご購入に関するお問い合わせ  
<https://go.motex.co.jp/l/320351/2017-11-27/7d5pg?>

■よくあるご質問(FAQ)については下記のURLを参照してください。  
[https://faq.motex.co.jp/?site\\_domain=an](https://faq.motex.co.jp/?site_domain=an)



# MOTEX

---

[www.motex.co.jp](http://www.motex.co.jp)